がん相談業務
（院内におけるピア・サポート）

相談記録シート集計報告

実施期間：令和8年4月1日～令和8年6月30日

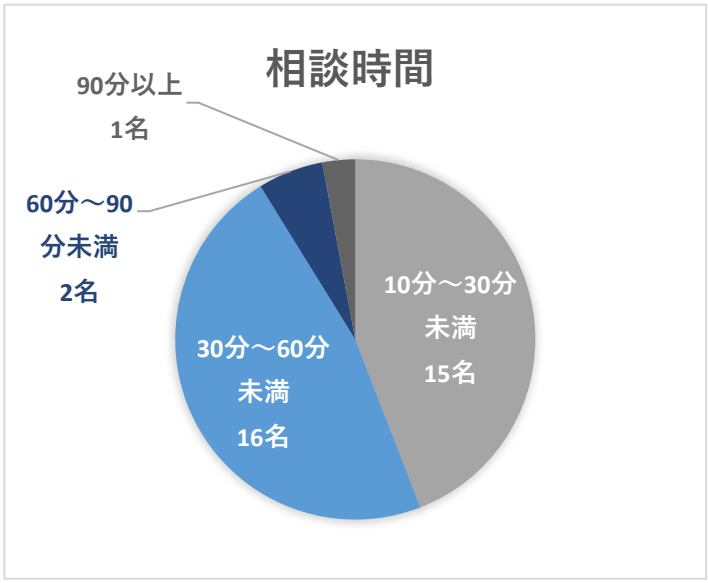
沖縄県地域統括相談支援センター

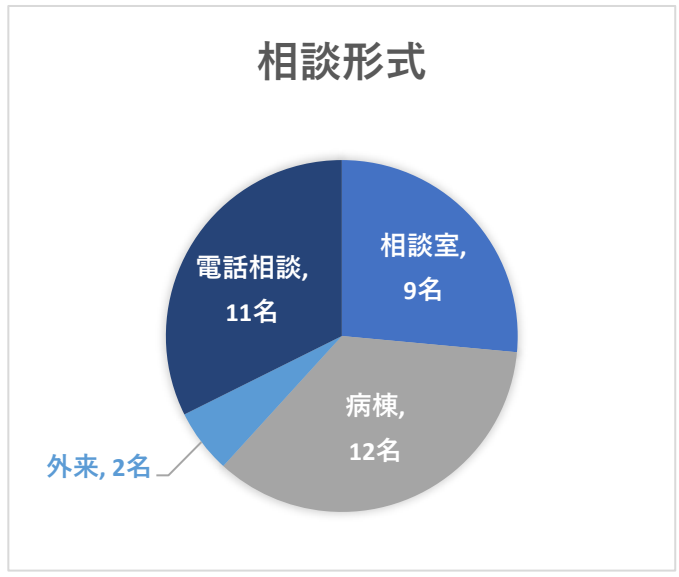
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

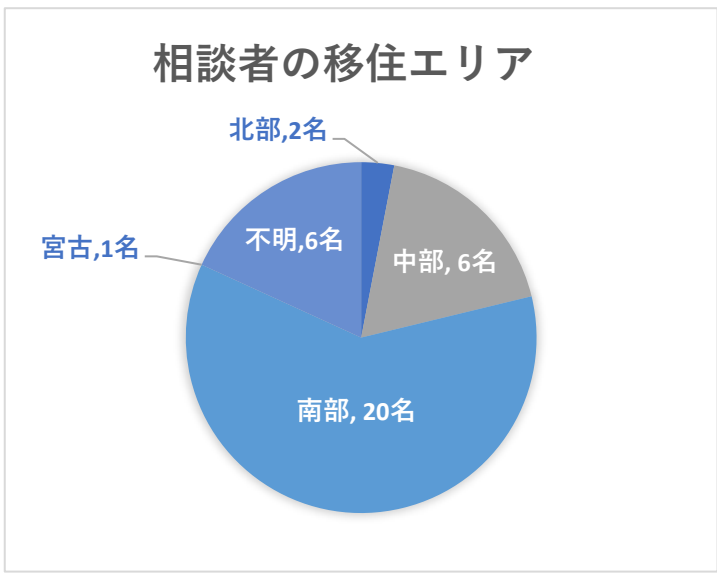
■ 調査対象期間　　令和8年4月1日～令和8年6月30日

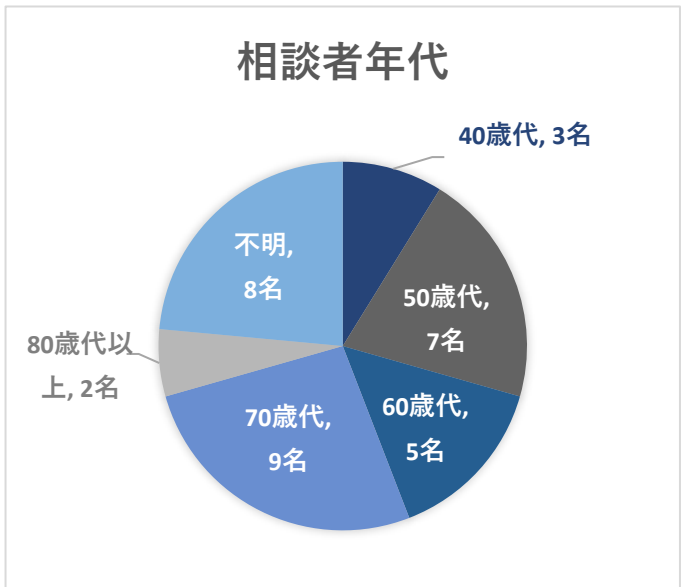
■ 調査件数　　34件

相談月	件　数
4月	13
5月	10
6月	11
合　計	34

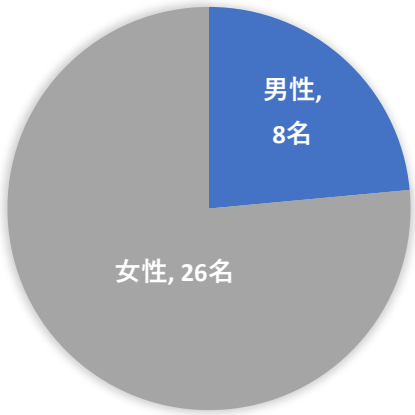




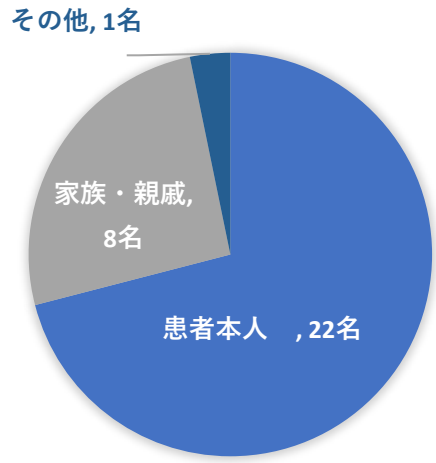




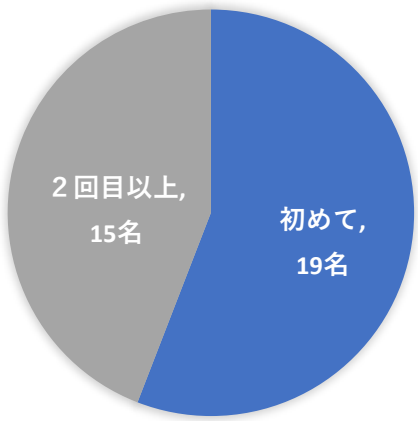
相談者の性別



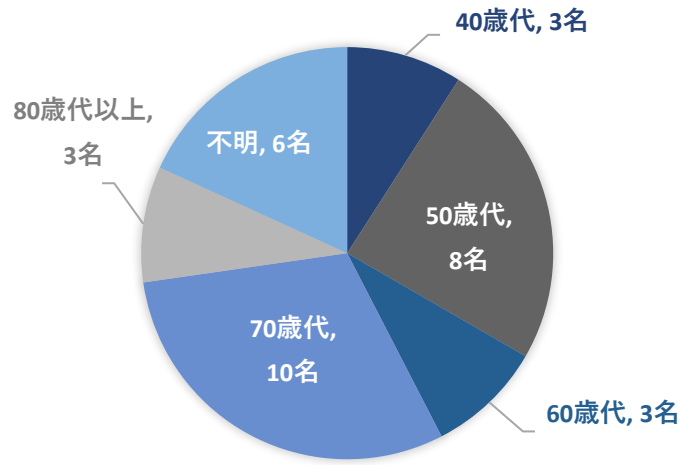
相談者のカテゴリー



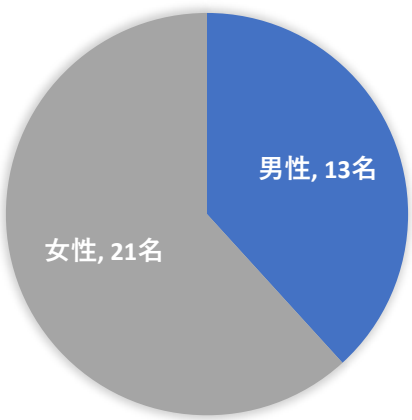
相談者の利用回数



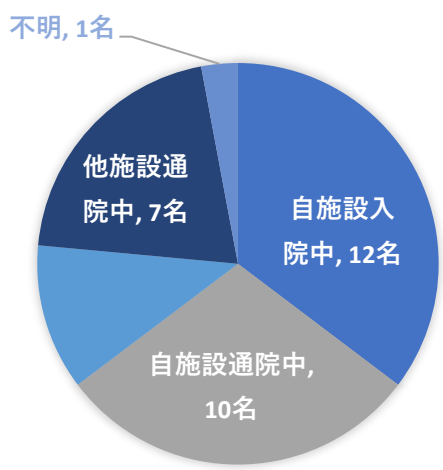
患者本人の年代

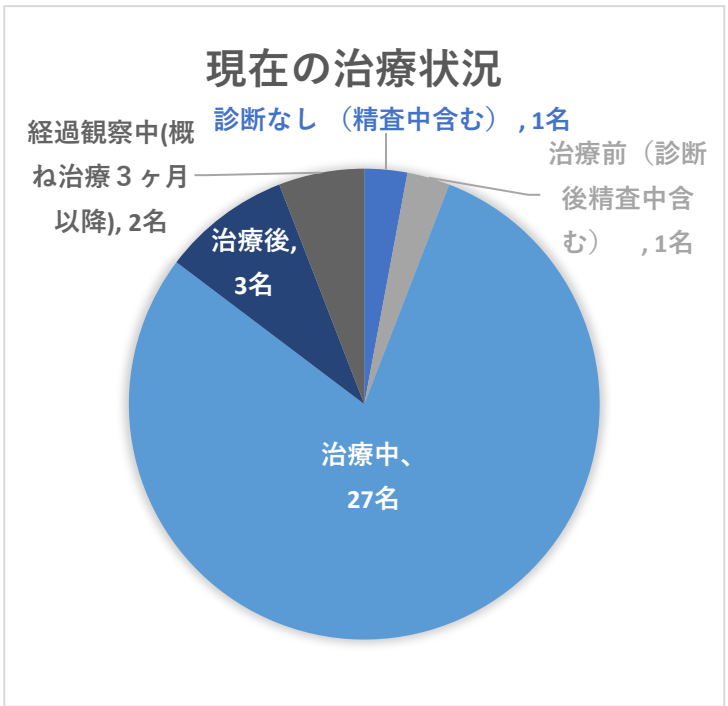


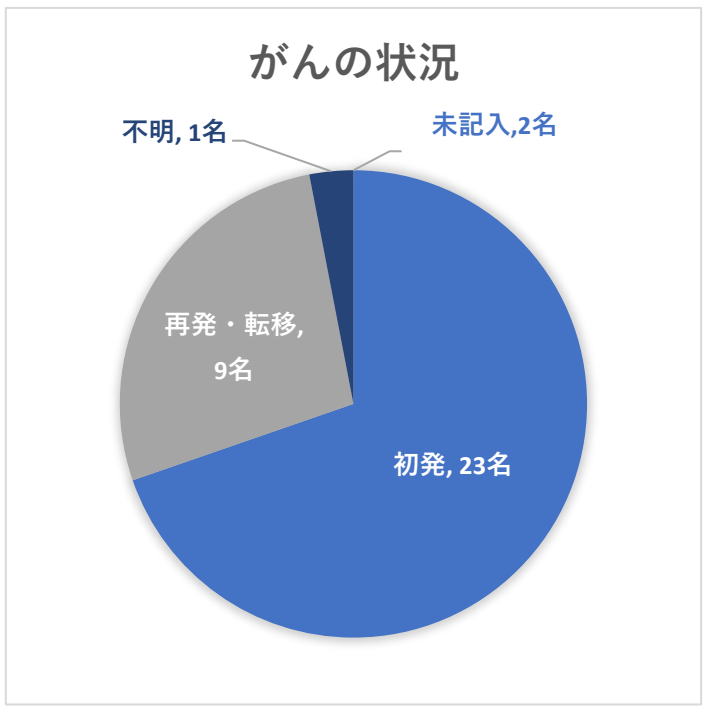
患者本人の性別

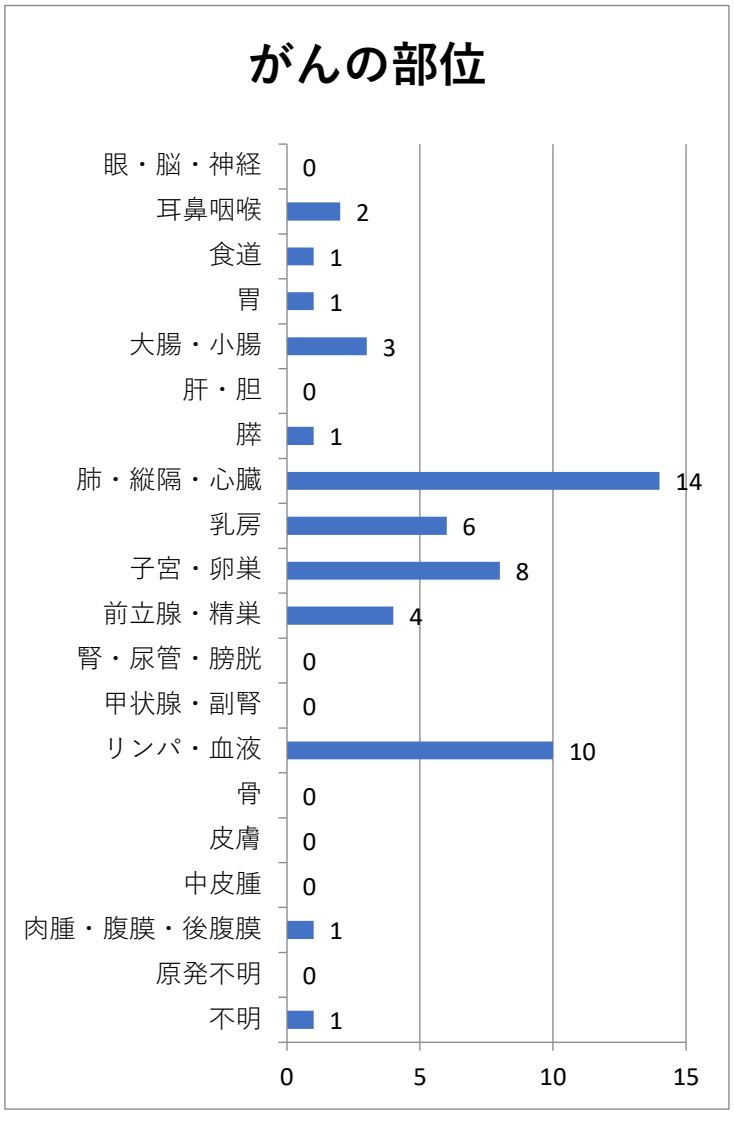


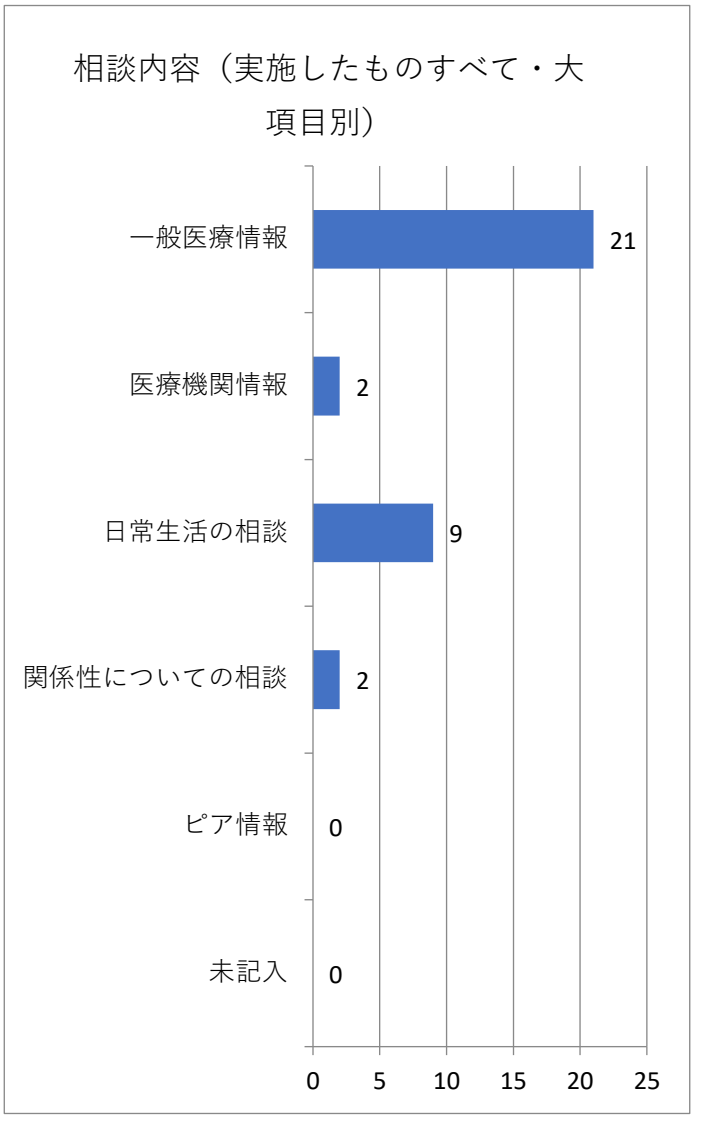
受診状況



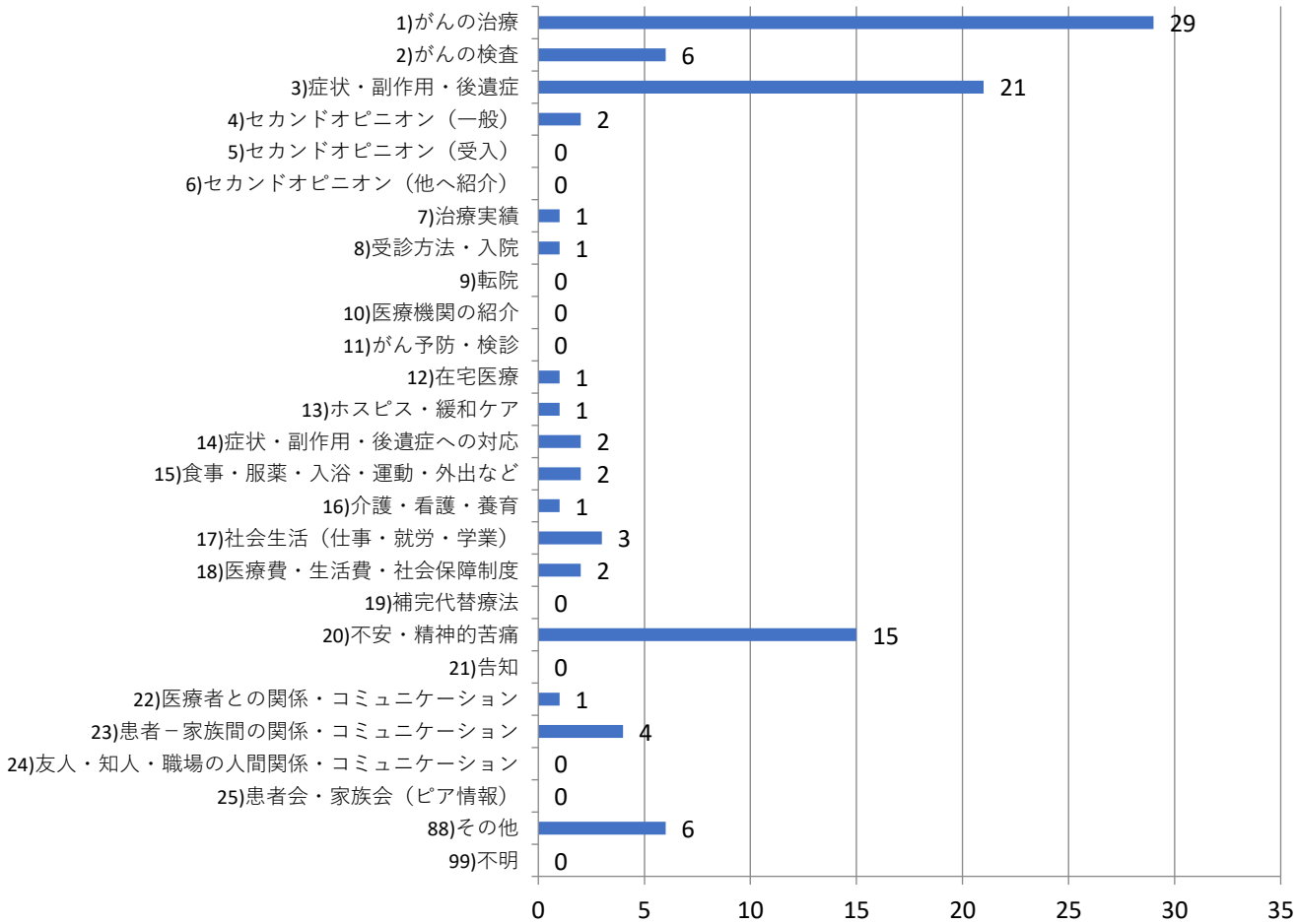

現在の治療状況
診断なし （精査中含む） , 1名
経過観察中(概ね治療３ヶ月以降), 2名
治療前（診断後精査中含む） , 1名
治療後, 3名
治療中、27名


がんの状況
不明, 1名
未記入,2名
再発・転移, 9名
初発, 23名

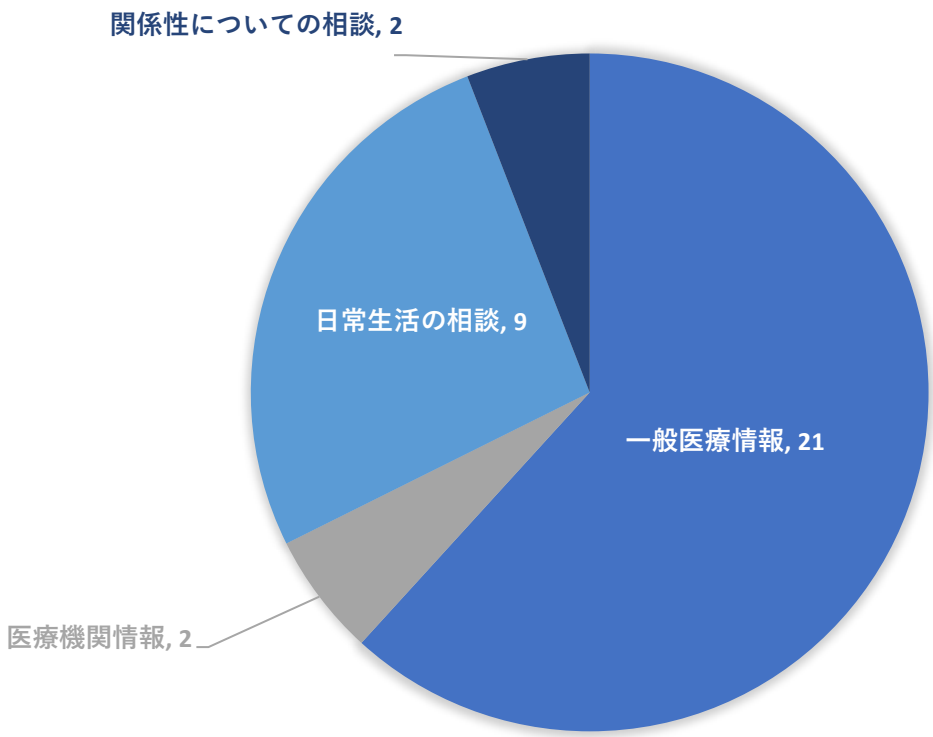

がんの部位
眼・脳・神経 0
耳鼻咽喉 2
食道 1
胃 1
大腸・小腸 3
肝・胆 0
膵 1
肺・縦隔・心臓 14
乳房 6
子宮・卵巣 8
前立腺・精巣 4
腎・尿管・膀胱 0
甲状腺・副腎 0
リンパ・血液 10
骨 0
皮膚 0
中皮腫 0
肉腫・腹膜・後腹膜 1
原発不明 0
不明 1
0 5 10 15


相談内容（実施したものすべて・大項目別）
一般医療情報 21
医療機関情報 2
日常生活の相談 9
関係性についての相談 2
ピア情報 0
未記入 0
0 5 10 15 20 25

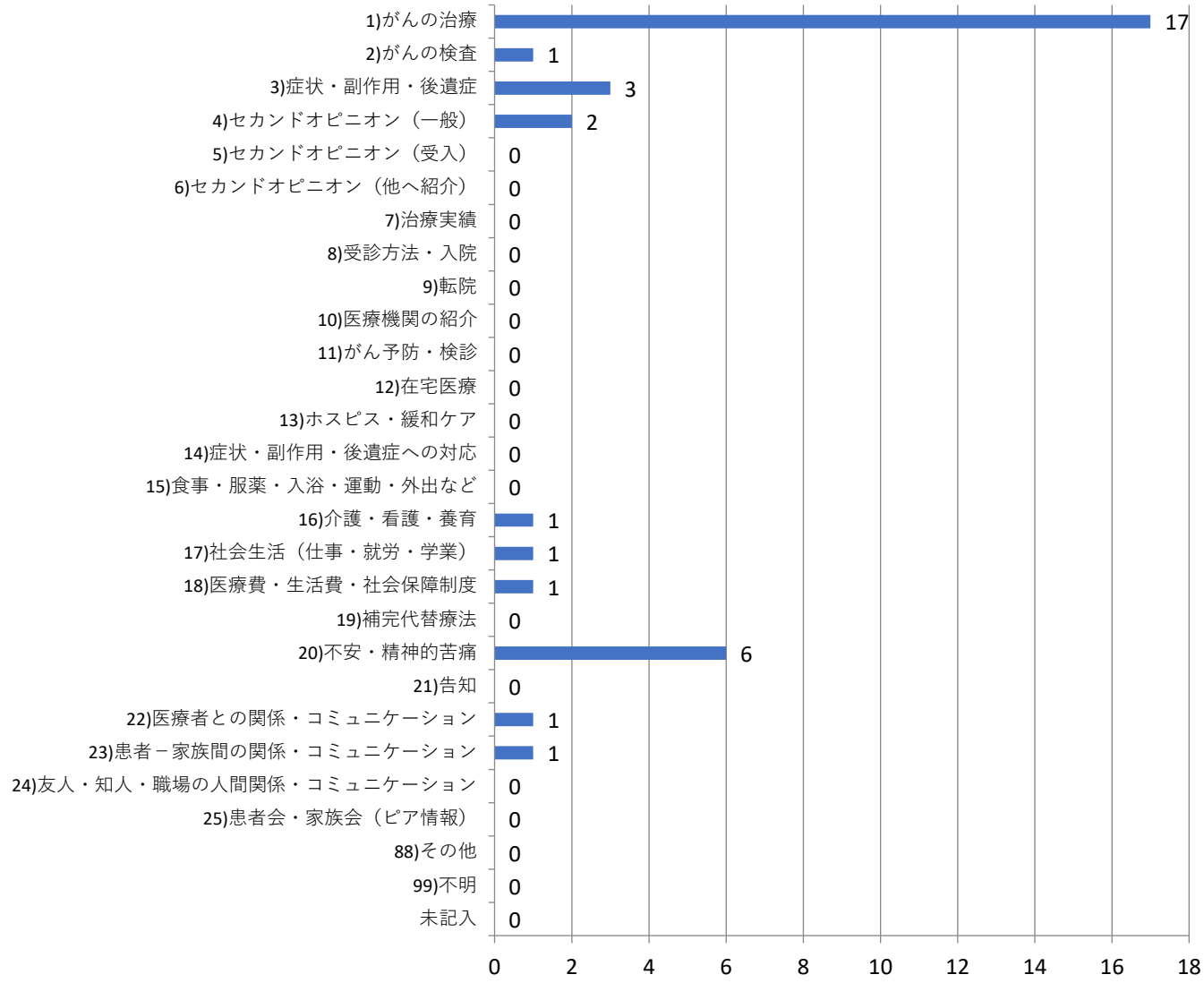
相談内容（実施したものすべて）



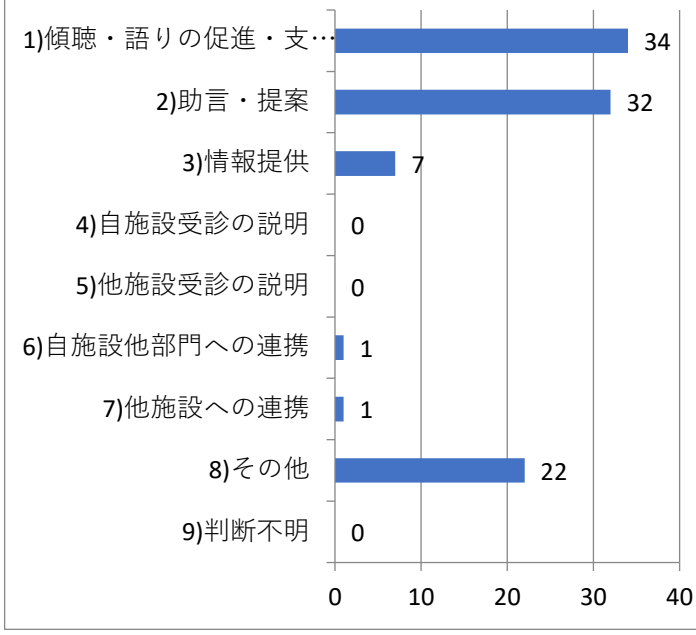
相談内容（最も比重の高いもの・大項目別）



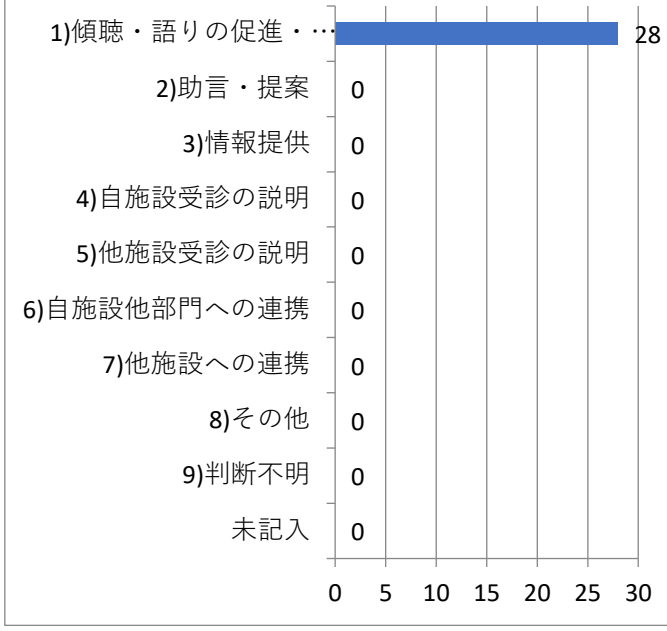
相談内容（最も比重の高いもの）

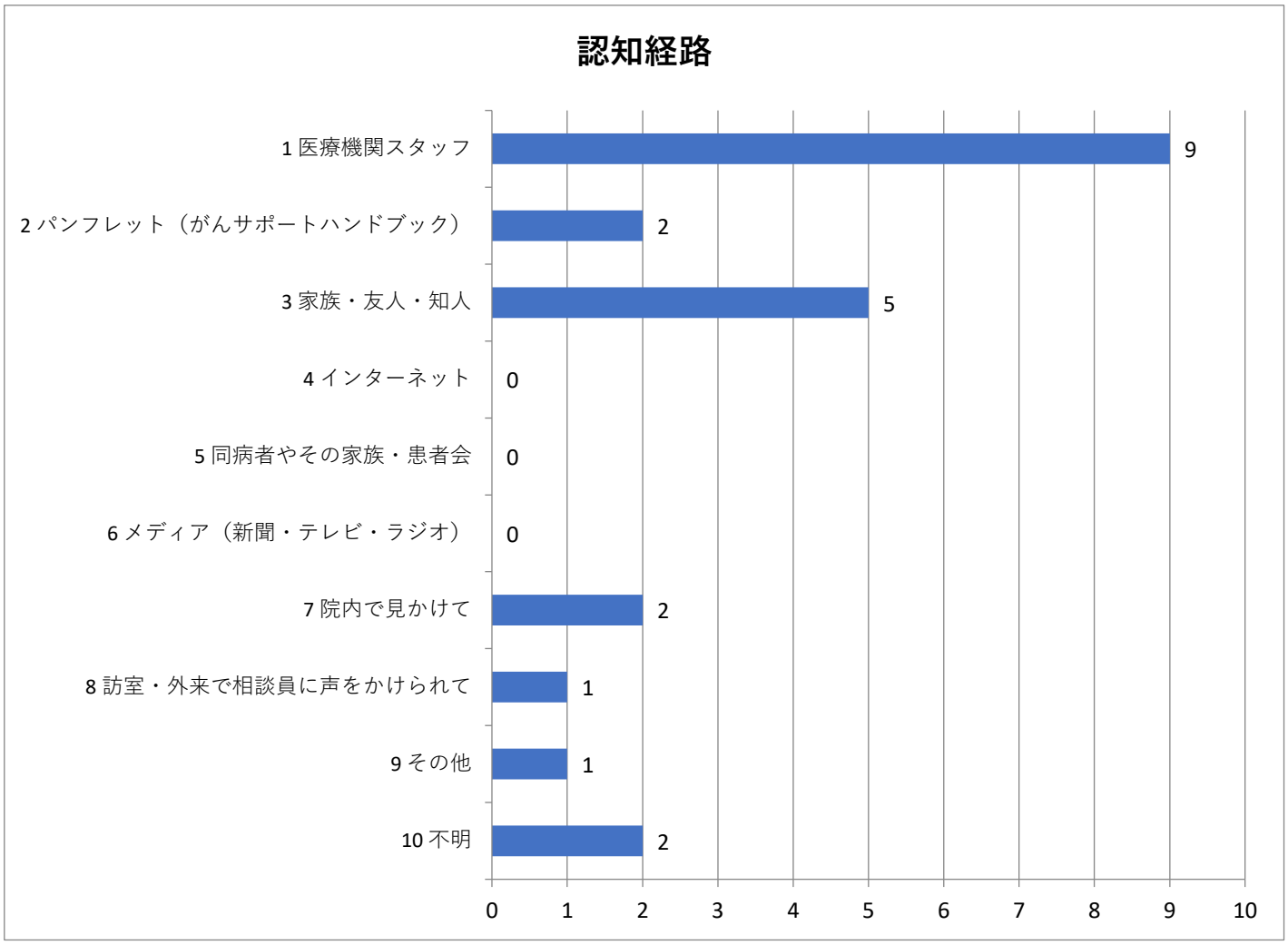


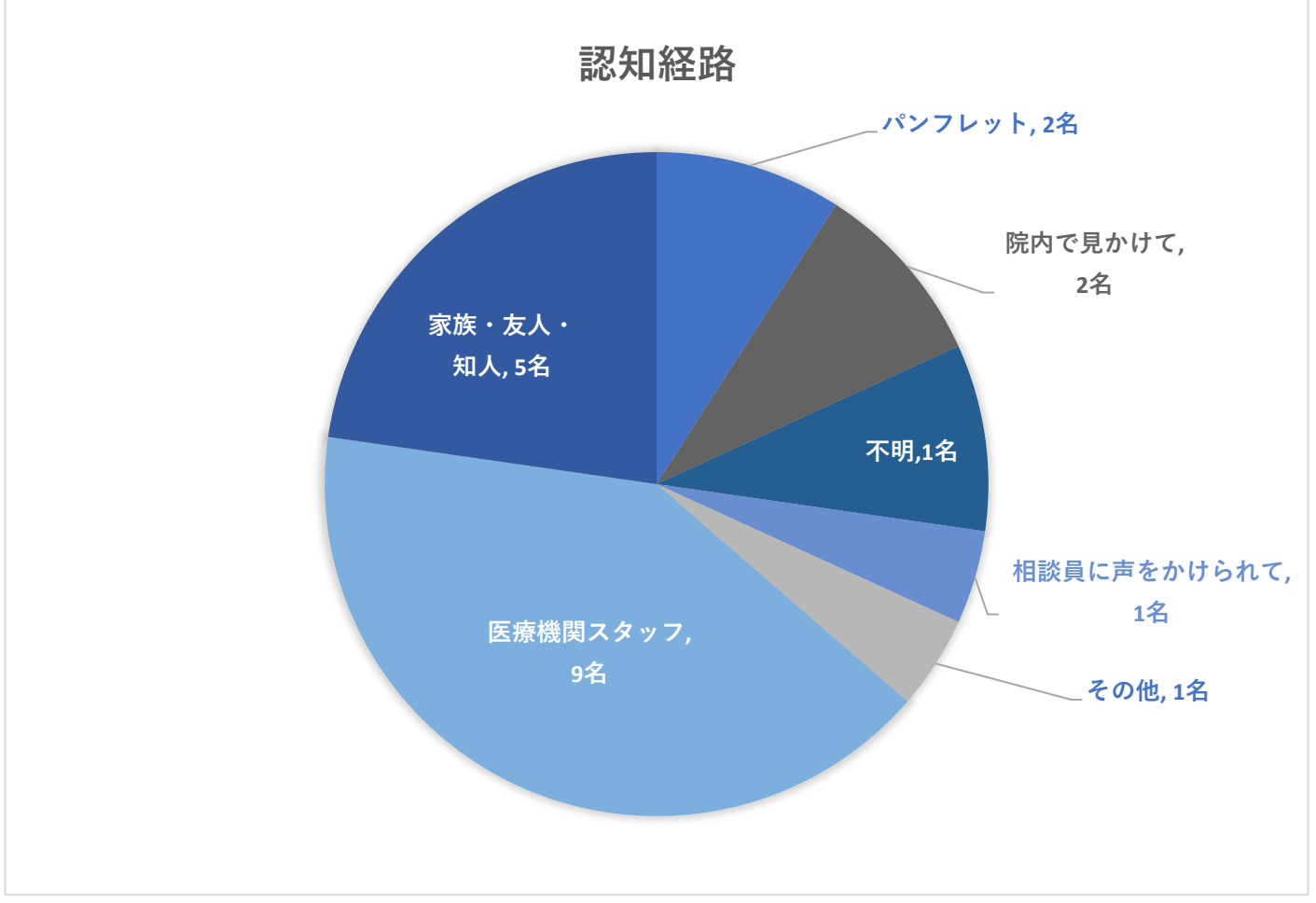
対応内容（実施したものすべて）



対応内容（最も比重の高いもの）




認知経路
1 医療機関スタッフ
2 パンフレット（がんサポートハンドブック）
3 家族・友人・知人
4 インターネット
5 同病者やその家族・患者会
6 メディア（新聞・テレビ・ラジオ）
7 院内で見かけて
8 訪室・外来で相談員に声をかけられて
9 その他
10 不明
9
2
5
0
0
0
2
1
1
2
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10


認知経路
パンフレット, 2名
院内で見かけて, 2名
不明,1名
相談員に声をかけられて, 1名
その他, 1名
医療機関スタッフ, 9名
家族・友人・知人, 5名

令和８年度４月～６月
沖縄県地域統括相談支援センター　院内患者サロン参加報告

1. 各拠点病院内　患者サロン

(1)　琉大ゆんたく会

日　時　①令和８年４月７日（火）14：00～16：00
②令和７年５月12日（火）14：00～16：00
場　所　琉球大学病院　２階　多目的室
派遣者　①ピア・サポーター　４名
②ピア・サポーター　２名

(2)　中部ゆんたく会

日　時　令和８年５月28日（木）15：00～17：00
場　所　中部病院　南２階　デイルーム
派遣者　ピア・サポーター　１名

(3)　那覇がん患者ゆんたく会

日　時　令和８年５月21日（金）14：00～15：30
場　所　那覇市立病院　４階　会議室
派遣者　ピア・サポーター　２名

(4)　オンラインゆんたく会

日　時　①令和８年４月21日（火）14：30～15：30
②令和８年５月19日（火）14：30～15：30
③令和８年６月16日（火）14：30～15：30
場　所　オンライン（Zoom）
派遣者　①ピア・サポーター　２名
②ピア・サポーター　２名
③ピア・サポーター　１名

令和８年４月７日
琉大病院　がんセンター内
沖縄県地域統括相談支援センター
伊波　亜利沙
（内線：1506）

沖縄県内各拠点病院　院内患者サロン　出張報告

名称　令和８年度　第１回　琉大ゆんたく会

場所　琉球大学病院　２階　多目的室

日時　令和８年　４月　７日（火）　14：00　～　16：00

派遣者　がんピア・サポーター（がん経験者）　４名

内容　社会保障制度についての講演（医療ソーシャルワーカー）。

ピア・サポーター4 人で院内患者サロンへ参加。

初めての患者さんもいたので自己紹介をし、みんなの体験談を傾聴し寄り添う事ができた。

予定通り終了した。

令和８年５月 12 日

琉大病院　がんセンター内
沖縄県地域統括相談支援センター
伊波　亜利沙
（内線：1506）

沖縄県内各拠点病院　院内患者サロン　出張報告

名称　令和８年度　第２回　琉大ゆんたく会

場所　琉球大学病院　２階　多目的室

日時　令和８年　５月　12 日（火）　14：00　～　16：00

派遣者　がんピア・サポーター（がん経験者）　２名

内容　「がん治療とお薬」講義を受ける。

フリートークでは主に薬物治療に関する質疑応答。

抗がん剤治療で吐き気等があれば我慢せずにすぐに医師へ相談した方が良いと意見があった。

参加者のピアサポーターによる経験談もあり、意見・情報のシェアが活発に行われた。

予定通り終了。

令和 8 年 5 月 29 日

琉球大学病院　がんセンター内
沖縄県地域統括相談支援センター
伊波　亜利沙
（内線：1506）

沖縄県内各拠点病院　院内患者サロン　出張報告

名称　令和 8 年度　第 172 回　中部地区ゆんたく会

場所　中部病院

日時　令和 8 年　5 月　28 日（木）　15：00　～　17：00

派遣者　がんピア・サポーター（がん経験者）　1 名

参加者　5 人

内容　新年度になり初めての参加のため、事務員とピア・サポーターで院内患者サロンへ参加した。中部病院に通院し、何度か参加されているリピーターの参加者が多くいたため、和やかな雰囲気だった。

リンパ浮腫指導技能者（看護師）の方の『むくみ』についての講演があり、ストレッチや沖縄で中部病院にしかない腕や肩をほぐす医療機器を実際使用してみたりと、楽しく取り組んでいた。深刻な話題などがあったが、心の内を話すことで少しすっきりされたご様子だった。会は予定より 30 分ほど延長したが、とても心温まる会だった。

令和 8 年 5 月 29 日
琉球大学病院　がんセンター内
沖縄県地域統括相談支援センター
伊波　亜利沙
（内線：1506）

沖縄県内各拠点病院　院内患者サロン　出張報告

名称　令和 8 年度　第 153 回　那覇がん患者ゆんたく会

場所　中部病院

日時　令和 8 年　5 月　21 日（木）　14：00　～　15：30

派遣者　がんピア・サポーター（がん経験者）　2 名

参加者　1 人

内容　新年度初開催のため、事務員とピア・サポーターで院内患者サロンへ参加した。那覇市立病院に通院し、何度か参加されているリピーターの参加者で、テーマの医療費についての疑問などを質問していた。ピア・サポーターが答えることもあり、とても有意義とした時間になった。

会は予定通りに終了した。

令和８年４月 21 日
琉大病院　がんセンター内
沖縄県地域統括相談支援センター
伊波　亜利沙（内線：1506）

オンラインゆんたく会　報告

名称　令和８年度　第１回　オンラインゆんたく会

場所　オンライン（Zoom）

日時　令和８年　４月　21 日（火）　14：30　～　15：30

派遣者　がんピアサポーター（上地 久美子、金城ひとみ）　２名

参加者　その他参加者　２名

琉球大学病院 医療ソーシャルワーカー１名

参加者それぞれ自己紹介を行い、近況報告される。

貧血の相談をみんなで共有した。

全員が話をすることができ、笑顔も見られ和やかな雰囲気で充実した時間になった。

令和８年５月19日

琉大病院　がんセンター内
沖縄県地域統括相談支援センター
伊波　亜利沙（内線：1506）

オンラインゆんたく会　報告

名称　令和８年度　第２回　オンラインゆんたく会

場所　オンライン（Zoom）

日時　令和８年　５月　19日（火）　14：30　～　15：30

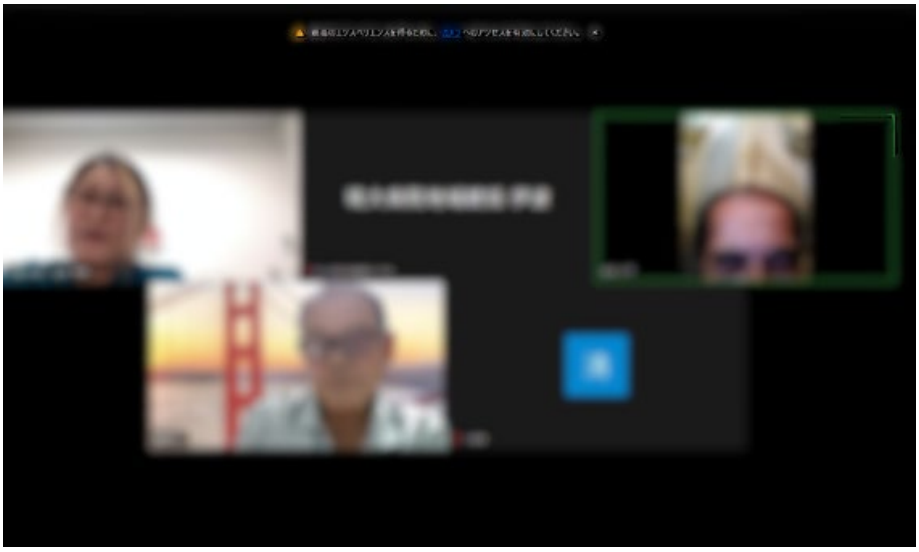
派遣者　がんピアサポーター（金城ひとみ、有銘 宏司）　２名

参加者　一般参加者　２名

八重山病院 看護師１名

・参加者それぞれ自己紹介(初参加１名)を行い、近況報告される。

・映画のお話になり、「死を受け入れる」ことについて話し合った。



令和８年６月16日

琉大病院　がんセンター内
沖縄県地域統括相談支援センター
伊波　亜利沙（内線：1506）

オンラインゆんたく会　報告

名称　令和８年度　第３回　オンラインゆんたく会

場所　オンライン（Zoom）

日時　令和８年　６月　16日（火）　14：30　～　15：30

派遣者　がんピアサポーター（上地　久美子）　１名

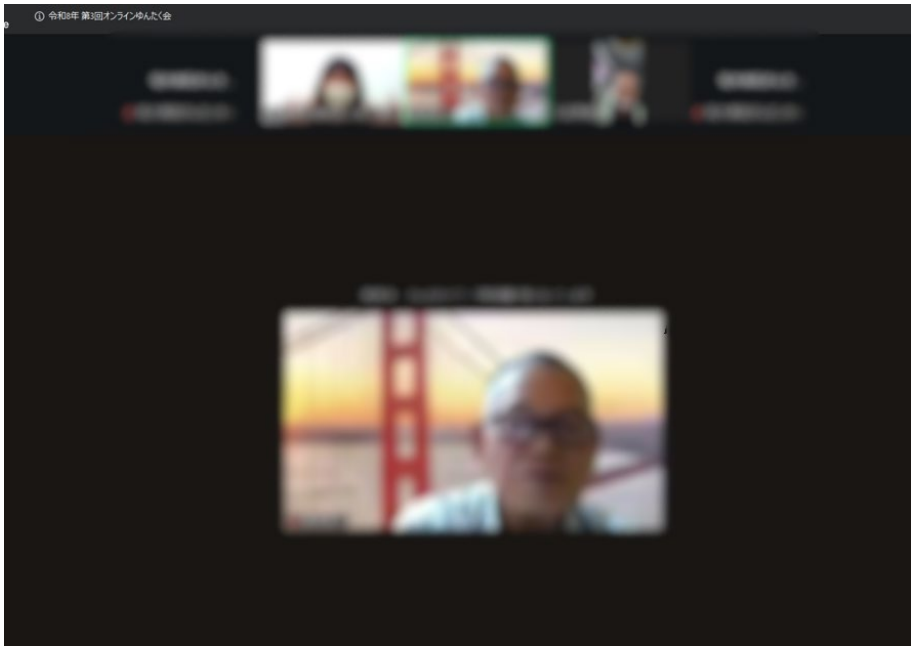
参加者　一般参加者　２名

通常通りオンラインゆんたく会の約束ごとを読み上げ共通認識を図る。

自己紹介をし、皆さんの近況報告。

参加者のお２人が、年齢が近いこともあり話が弾んでいた。

笑顔も見られ和やかな雰囲気だった。



令和８年度　沖縄県委託事業

がん ピア・サポーター養成講座

開催報告

実施日：令和８年６月 27 日（土）

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

【名称】

令和８年度　がん ピア・サポーター養成講座

【目 的】

①これから「ピアサポート」を始める方が、1 対 1 での対応に関する基本な事項を学ぶ。

②受講生同士に仲間意識を持ち、今後のセンター及び個々の活動が互いに連携できる環境をつくり、コミュニケーション技術向上を目的とする。

【概 要】

１.日　時　　令和８年６月 27 日（土）9：00～17：00

２.場　所　　琉球大学病院　7 階会議室

３.対　象　　下記①～⑤すべてに該当する方

①がん患者およびがん患者のご家族、ご遺族

②現在病状の安定している方

③事前学習プログラム（講義動画）を視聴できる方

④講義ならびにロールプレイ（面接技法）参加出来る方

⑤受講後は治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターのがんピアサポーター（ボランティア）として登録し活動できる方

４.主　催　　沖縄県地域統括相談支援センター（令和８年度　沖縄県委託事業）

５.参加費　　無料

６.課　題

講義動画（受講前までに学習プログラムを視聴し、事前課題を提出）

厚生労働省委託事業　がん総合相談に携わる者に対する研修事業

「ピア・サポーター養成テキスト 2023 年度版」のテキスト等に準拠し、サイコオンコロジー学会、ご提供頂いた動画を使用。

・ピアサポートとは
・ピアサポーターの役割と活動指針
・相手を大切にすること、自分を大切にすること
・よりよいコミュニ ケーションのために
・がん診断の基礎知識と情報提供の注意点
・行政と医療機関の役割について学ぼう

事前学習動画内において、学んだことや感想を原稿用紙に各テーマ 100 文字～200 文字にまとめ、事前学習に関する質疑についての課題提出あり。

令和8年度　がん　ピア・サポーター養成講座　プログラム

開始時間	終了時間	所要時間	項目	担当者	備考
9:00			開会		
9:00	9:05	5分	開会のあいさつ	がんセンター長　増田	
9:05	9:10	5分	講師およびスタッフ紹介	講師・相談員・スタッフ	各自自己紹介
9:10	9:20	10分	アイスブレイク	齋藤　円先生	受講生参加型
9:20	9:50	30分	ピアサポートについて	齋藤　円先生	
9:50	10:20	30分	事前学習の復習（ピアサポートとは・ 役割と活動指針・コミュニケーション）	野田　真由美さん	
10:20	10:30	10分	休憩		
10:30	11:00	30分	相手を大切にすること、自分を大切にすること バウンダリーについて	齋藤　円先生	
11:00	11:10	10分	休憩		
11:10	12:10	60分	自分の体験を語る	野田　真由美さん 齋藤　円先生	受講生参加型 2グループ編成
12:10	13:00	50分	お昼休憩		
13:00	13:20	20分	オリエンテーション（ロールプレイ）	野田　真由美さん	
13:20	13:50	30分	ロールプレイ第1セッション		受講生参加型 3人1組 6グループ編成 （患者役・ ピアサポーター役・ 観察者役）
13:50	14:00	10分	休憩		
14:00	14:30	30分	ロールプレイ第2セッション		
14:30	14:40	10分	休憩		
14:40	15:10	30分	ロールプレイ第3セッション		
15:10	15:20	10分	休憩		
15:20	15:30	10分	グループ振り返り	各グループ	
15:30	16:00	30分	全体振り返りロールプレイの講評	野田　真由美さん	各グループの振り返り発表 講師及びセンター長より 全体の講評
16:00	16:05	5分	休憩		
16:05	16:15	10分	がん対策について	増田　昌人	
16:15	16:30	15分	沖縄県のピアサポート事業について	ピア・サポーター 仲田　ひろ子	
16:30	16:40	10分	質疑応答	講師・相談員	司会が指名
16:40	16:50	10分	アンケート記入	受講生各自	紙面記入
16:50	16:55	5分	受講修了書	がんセンター長　増田	
16:55	16:57	2分	記念撮影	全員	
16:57	17:00	3分	閉会のあいさつ	がんセンター長　増田	
17:00			閉会		

【講師・スタッフ紹介】　　R8.6.27

No	名前	所属先	役割
1	さいとうまどか 齋藤　円先生	市立ひらかた病院　精神科　主任部長	講師・アドバイザー
2	のだ　まゆみ 野田　真由美さん	NPO法人　支えあう会「α」 理事長	講師・アドバイザー
3	うえはらひろみ 上原　弘美さん	友愛医療センター　地域医療部 がん相談支援室専従看護師	ファシリテーター
4	よぎ　よしえ 与儀　淑恵さん	NPO乳がん患者の会　ぴんく・ぱんさぁ 代表	ファシリテーター
5	なかだ　こ 仲田　ひろ子	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	講師・ファシリテーター
6	にしむらかつとし 西村　克敏	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	ファシリテーター
7	うえち　くみこ 上地　久美子	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	ファシリテーター
8	おおくぼ　れいこ 大久保　礼子	琉球大学病院　がん相談支援センター 医療ソーシャルワーカー	ファシリテーター
9	まえしろ　ふみよ 真栄城　文代	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	オブザーバー
10	おくま　ようこ 奥間　洋子	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	オブザーバー
11	たば　じゅんこ 田場　純子	沖縄県保健医療介護部　健康長寿課 がん対策班　主査	オブザーバー・県担当者
12	ますだ　まさと 増田　昌人	琉球大学病院　がんセンター長 沖縄県地域統括相談支援センター長兼任	責任者
13	いさ　じゅんこ 伊佐　順子	琉球大学病院　がんセンター	スタッフ
14	にし　さわこ 西　佐和子	琉球大学病院　がんセンター	スタッフ
15	しろま　くみこ 城間　久美子	琉球大学病院　がんセンター	スタッフ
16	いは　ありさ 伊波　亜利沙	琉球大学病院　がんセンター 沖縄県地域統括相談支援センター　担当	司会・スタッフ

【受講者】

No	性別	所属先	備考
1	女性	無	
2	女性	ぴんく・ぱんさぁ	
3	女性	浦添総合病院患者会りぼんの輪	
4	女性	無	
5	女性	無	
6	女性	ぴんく・ぱんさぁ	
7	女性	無	
8	女性	無	
9	女性	ぴんく・ぱんさぁ	
10	女性	無	
11	女性	ぴんく・ぱんさぁ	
12	女性	無	
13	女性	ぴんく・ぱんさぁ	
14	女性	無	
15	女性	ぴんく・ぱんさぁ	
16	女性	無	

【オブザーバー参加】

No	性別	所属先	備考
1	女性	ぴんく・ぱんさぁ	
2	女性	ぴんく・ぱんさぁ	

【参加者】
受講者 16 名
オブザーバー参加 2 名（ピア・サポーター2 名）

【振り返り】
・県内のがん診療を行う医療施設、がん患者支援登録団体、がん患者会登録団体、市町村を含む計 80 か所へ案内を送付し、あわせて院内ポスター掲示やホームページ等でも周知を行った結果、20 名の申し込みがあった（家庭の事情や体調不良等により 4 名がキャンセル）。
・前回同様、対象者を「現在、病状が安定している方」に広げたことに加え、地元新聞（レキオ、ほーむぷらざ）への広告掲載や乳がん患者イベントでの周知活動を実施したことで、前年と同様に多くの受講希望者が得られた。
・今年度は開催 1 か月半前からの周知開始であったため、受講者確保に不安があったが、レキオやほーむぷらざを見た方、また乳がん患者イベントをきっかけに知った方からの申し込みがあった。特に乳がん患者イベントの影響力は大きく、受講者の約 8 割が乳がん経験者であった。がん患者向けイベント時に広報を行うことで、受講者の増加につながる可能性があると感じた。
・事前課題については、余裕をもって提出できるよう早めに設定することが望ましいが、申し込みが締切直前となる場合には課題に取り組む時間が十分に確保できないため、受講者の負担軽減につながる方法について検討が必要である。
・離島在住者についても助成制度を活用し受講いただけるよう、離島・へき地への周知を強化していきたい。
・会場については、前日に設営を行ったことで、当日の受付までの流れがスムーズであった。次回以降も前日設営を前提にスケジュール調整を行いたい。
・今回も患者会代表にファシリテーターを依頼したが、依頼時期が遅かったため既に予定が入っていることが多く、人員確保が困難であった。結果として必要人数ぎりぎりでの運営となったが、当日の欠席者がいなかったため無事終了することができた。今後は参加者数に応じてファシリテーターの人数も増えることを踏まえ、早期の依頼が必要である。
・オブザーバーについては 2 名の配置が必須であり、当日の欠席に備えて 3 名程度の確保が望ましい。
・プログラムについては、昨年度から大きな変更はなく、終日研修として問題なく実施することができた。

【当日の様子】















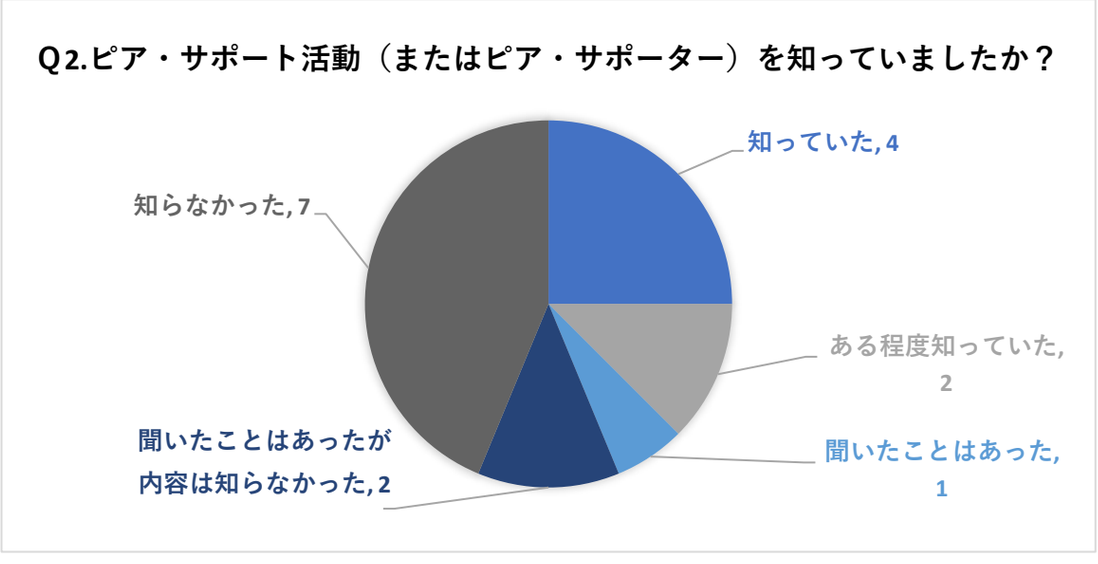


令和8年度　がん ピア・サポーター養成講座　アンケート集計（16名分）

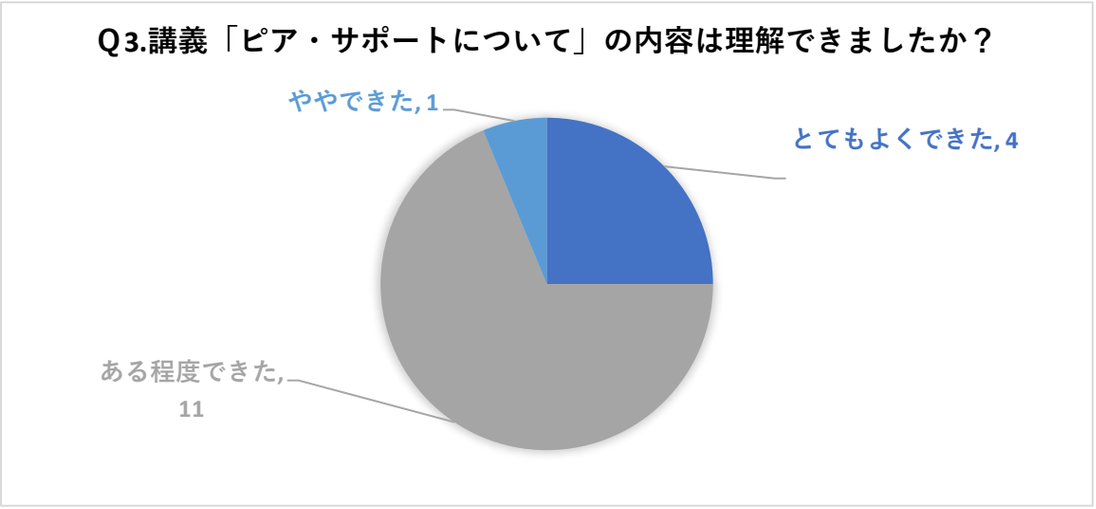
Q1.養成講座に参加しようと思ったきっかけは何ですか？

1　同じ経験をした人や実際にがんになった人のお話を聞いたり、自分に何か力になれることはあるのかと思い参加しました
2　新聞広告より
3　手術が終わって一安心したところで、家族以外にがんになったことを話してよいのか、1人ぽっちで悩んでいました。With you~okinawaに参加して、講座を知り参加しました。
4　がん患者の家族として、相談者に寄り添い、お話を聞くことができると考えていたので、本日参加させていただいています。
5　がんピアサポーターのタイトルに惹かれました。
6　患者会からの紹介
7　新聞での案内を見て、自分が治療中に患者サロンでピアサポーターがいた事を思い出したため。
8　すすめられたから
9　病院から紹介された
10　ぴんく・ぱんさぁの代表の方、認定看護師の方にすすめられました
11　同じがん患者さんにいろいろな情報を提供できればいいと思い参加しました
12　今年５月にあったWith you というイベントに参加した際に、当講座の事を知り、興味もあった為参加しようと思った
13　With you というイベントでピアサポートを知り、その後知人に誘っていただきました
14　自身が乳がんになり、ぴんく・ぱんさぁという患者会があることを知り、話を聞いていただいてとても気持ちが軽くなったことから、私もがんになったことを不幸なことだと思わず、誰かの役に立てたらと思い参加しました
15　私自身が治療とかで迷ったり、疑問に思うことがあり、そんな時正しい答えや難しい医学の話よりも、ただ話を聴いてもらいたかったり、共感してもらいたいと思ったため
16　ぴんく・ぱんさぁの方からのすすめ

Q2.ピア・サポート活動（またはピア・サポーター）を知っていましたか？



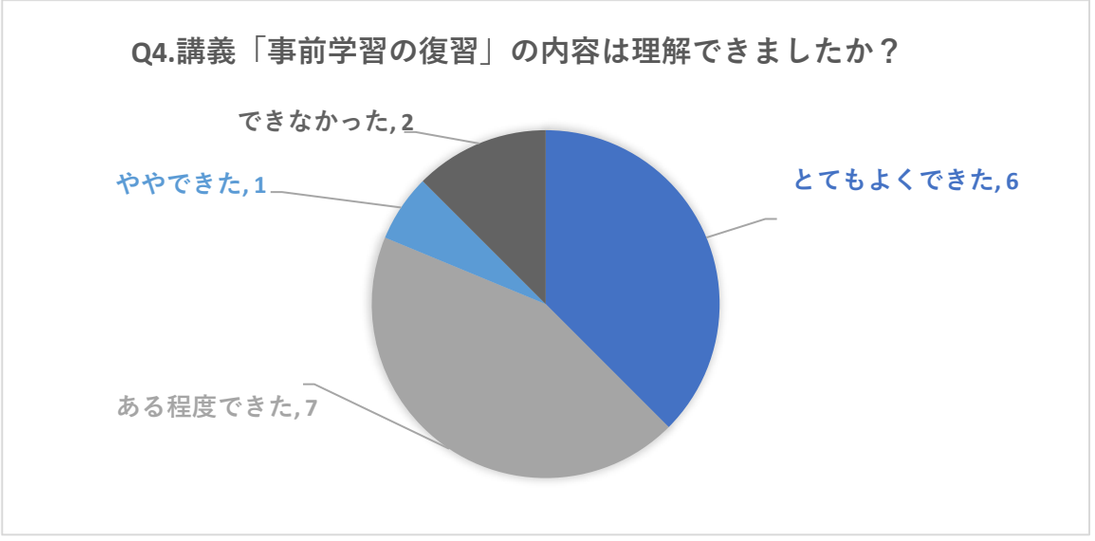
Q3.講義「ピア・サポートについて」の内容は理解できましたか？



理由

4	お互いの支えあいになる、大切な活動
5	ロールプレイも素晴らしく、体験と難しさがわかりもう少し勉強深めようと思う
8	同じ体験をし助け合う事
10	してはいけない事や言ってはいけない事がまだあいまいです。ピアサポーターはどこまでやればいいのか、どこからがん支援センターにつなげていけばいいのか。あと、がん支援センターの役割をもっと勉強しなければと思いました
11	ピアサポートは自分の話をする場所ではなく、相談する場所だとわかりました。間違いやすくて戸惑う
12	パワーポイントと資料が見やすくて理解しやすかった
13	事前学習で学んであったため、理解しやすかった
14	記憶することまでは到っていない部分もあるが、事前に動画を見れたことで、スムーズに理解できた
15	聴いたり、共感したり、復唱したりすることで、相談者が安心して悩みや気持ちを話すことができて、気持ちが整理され、悩みも軽くなる
16	私の思う人としてのあり方等に

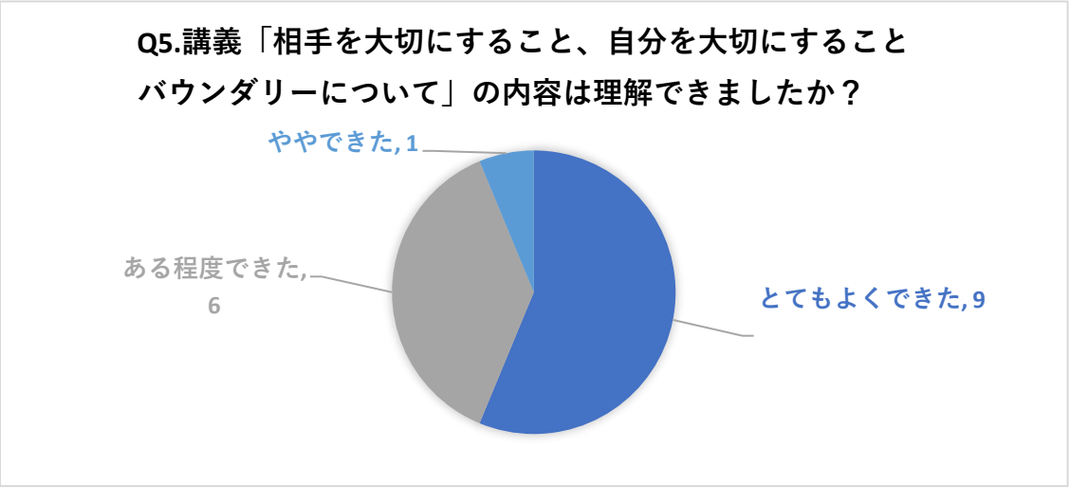
Q4.講義「事前学習の復習」の内容は理解できましたか？



理由

1	事前に動画や資料は見ていましたが、改めて話を聞いたり、実践することによって、より内容が深く理解できました。
5	ただ、２００文字を1.200文字と勘違いしてしまった。
10	講義内容はわかりやすく、やや理解できました
11	携帯が壊れて復習できなかった
12	事前学習の動画では分かりにくい部分もあった為、口頭で講義を聴く事が出来たので、理解しやすかった。
13	事前学習で学んであったため、理解しやすかった
14	とても分かりやすく、聞きやすい動画でした
15	やはり動画を見るだけよりも、分かりやすかったです

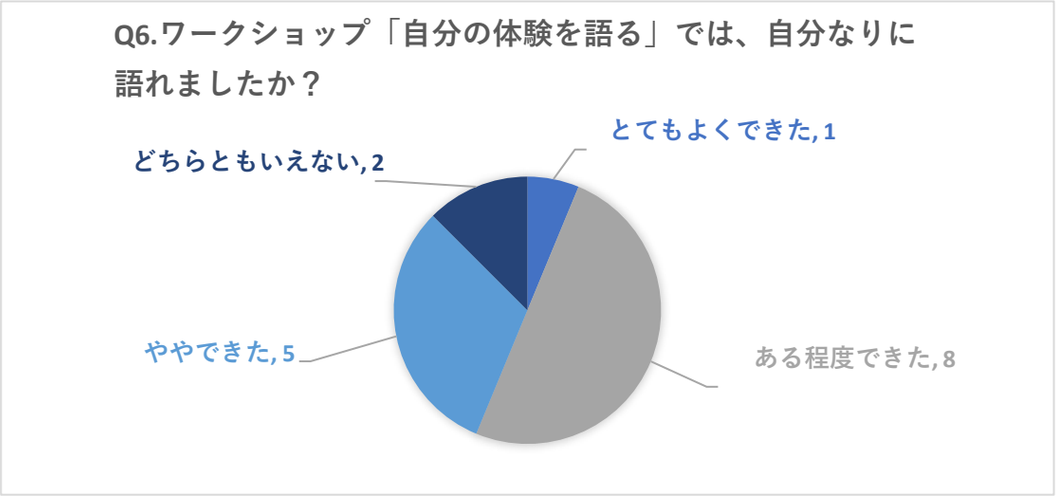
Q5.講義「相手を大切にすること、自分を大切にすること　バウンダリーについて」の内容は理解できましたか？



理由

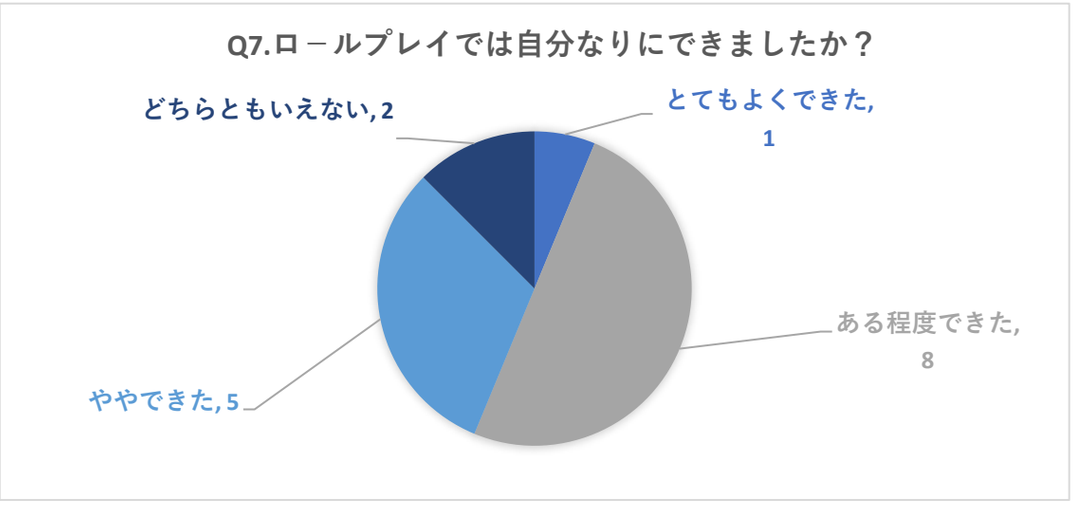
1	”サポートする側も自分のことを大切に”これは頭に入れておかないと境界線があやふやになってしまい気持ちが落ち込んでいったり、サポートすることができなくなりそうだと思いました。
4	ピアサポート活動に役立つだけでなく、日頃の生活で意識していると良いと思う
5	先生からの説明で、正確に理解できた。
7	理解はできたと思うが、実践は難しいと感じるため。
8	自分を大切にしないと他人も大切にできない事でもある。無理に相手に合わせなくてもいい事を知りました。
10	境界線を引くことは難しいけれど、バウンダリーはとても大切な事だと理解した
11	ロールプレイをしてみて、今の自分の気持ちが整理できてないことに気づいた。
12	パワーポイントが見やすくて理解しやすかった
13	事前学習で学んであったため、理解しやすかった
14	自分を大切にすることが出来て、相手に寄り添ったサポートが出来るんだと理解しました
15	相手と自分は違う人間だから、全く共感できるわけではない。そのためこれ以上相談するのが辛いと思ったら、今日はこの辺にしてまたの機会に、と提案することができる

Q6.ワークショップ「自分の体験を語る」では、自分なりに語れましたか？



	理由
3	話したいことがあふれてきてしまい、途中で時間切れでした
5	３分、１分とそれぞれの語りがあり、伝えるすべがたのしかった。
7	思っていたより感情的になってしまった。
10	語るには時間が短かったです
11	自分が思った以上に、自分の体験を語れなかった
12	話しやすいムードを作って下さった為、語る事ができた
13	思っていたより、自分の気持ちが整理できていないことに気づいた
14	自分なりには話せたと思うが、聞き手にどれだけ伝えられたかなと思うところはある
15	時間内にまとまらなかったが、語れました
16	短い時間では無理かも

Q7.ロールプレイでは自分なりにできましたか？



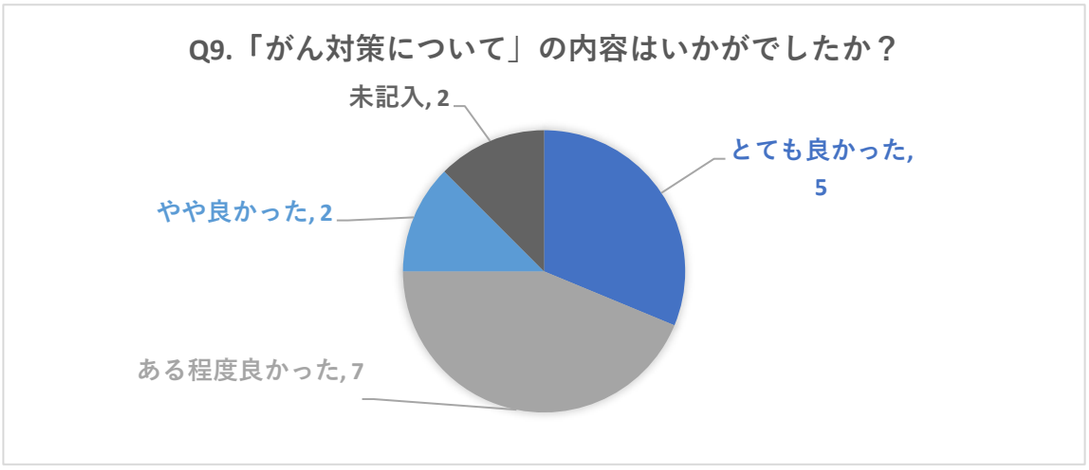
	理由
3	ロールプレイ自体は職場の研修等で経験していたのである程度できました。
5	難しく感じたが、振り返っても「これでよかったかな？」で、初心者にはハードルが大きかった。
10	緊張してしまい、頭が真っ白なままでロールプレイしたので、内容をあまり覚えていない
11	話の順番がわからなくなり、何を話したかわからなくなった

12　サポーター役は、利用者の意思と家族の意思をどちらも尊重していきたいと考えすぎてしまって、言葉が出なかった
13　聞かれたことに答えることはできたが、話をより広げたり、状況をより広く聞くことはできなかった
14　とても緊張しましたが、相談者の方が涙する場面もあり、気持ちに寄り添えたのかなと思いました
15　相手の困り感に対して、〇〇を紹介してあげたい、が出てきたが、〇〇が具体的に分からなかった。しかしそういう機関につなぐより、傾聴するのがいいみたい
16　はじめての事で知識不足

Q8.ロールプレイでは自分なりにできましたか？

1　”がん”と向き合う方とロールプレイをするのは初めてだったので、きくことや安心して話をしてもらうこと、役割として何ができるかなど、たくさん気づきがありました。
3　目の前の相談者の方のお話をきちんと聞くことが難しかったです。
5　立場がかわることの大切さを学べた。当事者→どう感じたか？どう答えられるか、どう声かけるか？など
6　初対面の相手の話を聴き、理解し、対話することの難しさ、もどかしさを感じました。何度も回数を重ねていく必要があると思いました。
7　サポーター役・利用者役とても難しかった。がん体験の気持ちの整理が、自分で思っているより、できてなかった。
8　相談者、利用者を通してピアサポーターの言葉づかい、相手に寄り添う言葉などの難しさを実感しました。
9　当事者で未だ闘病中での相談員としての立場は非常に難しかった。
10　とても勉強になりました。他の方のサポートのやり方がとても参考になりました
11　自分のストーリーを組み立て話すことができるように、整理しておくとスムーズに話せることがわかりました。
12　台本を通して、役作りも大変でしたが、どのような言葉で伝える事で、相手からの質問の返答こそが自分が求めている回答であると思った
14　それぞれの立場を体験できたことで、相手の気持ちを知ることが出来た
15　傾聴・頷き、共感は出来得る限りやってみた。聞いてもらった時に、優しく傾聴してもらったり、アドバイスをくれて、有り難かった
16　最低限の知識が必要

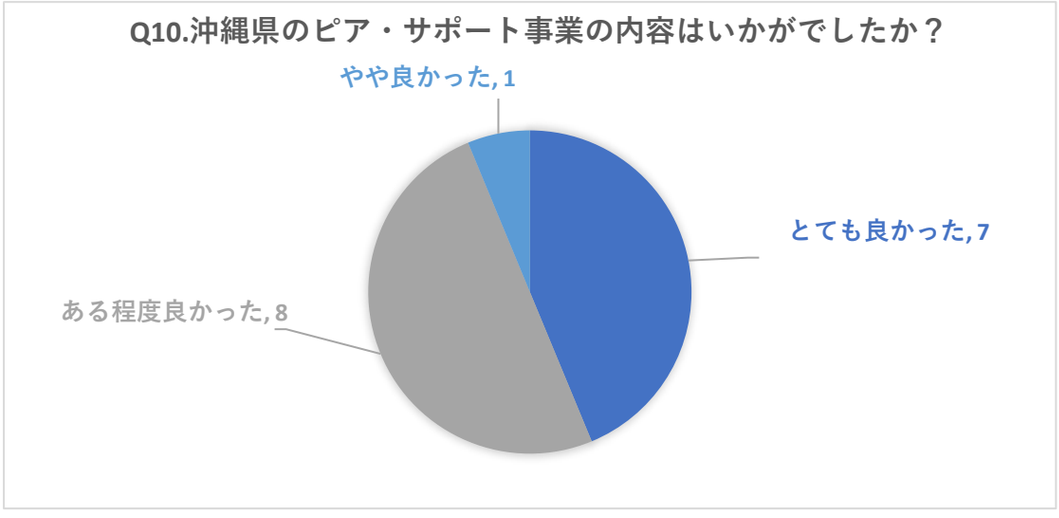
Q9.「がん対策について」の内容はいかがでしたか？



理由

3	沖縄県の対策やピアサポートの位置付けがよくわかりました。
5	どれだけ対策をしてきたか？その内容もびっくりした。
11	沖縄県ががん対策に力をいれていることを知ることができてよかった
12	国全体でのがん対策であるという印象を多く受けていたので、沖縄県全体でも対策があるんだと学ぶことができた。
13	沖縄県の対策が積極的であることを知ることができて良かった
14	理解はできたが、記憶することは難しいと感じた
15	ピアサポート活動もここに書き込まれている

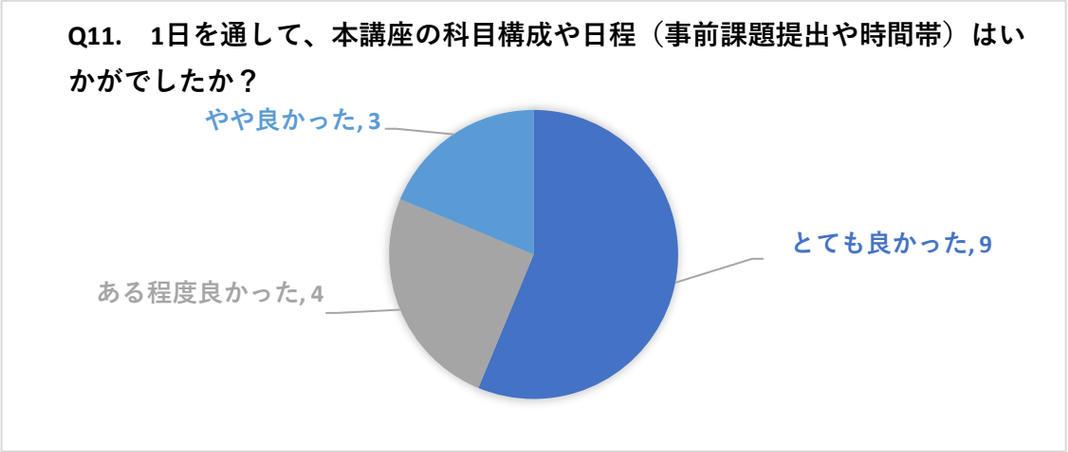
Q10.沖縄県のピア・サポート事業の内容はいかがでしたか？



理由

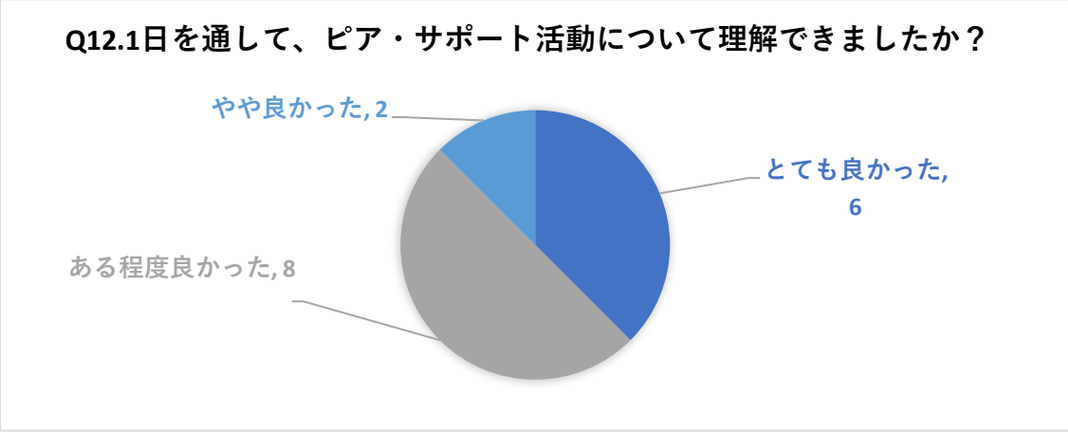
3	今後どうしたらよいのか理解できました。
5	もっと早く調べて研修をしたいと思った。
11	自分にもサポートできることがあることを知ることができてよかった
12	多くの人がピア・サポーターになろうと考えているんだと円グラフを用いて説明した事が分かりやすかったです。
13	今後どのような活動ができるのか知ることができた
14	初めて知りました
15	もっと早く調べて研修をしたいと思った。内容を見返して、理解を深めたい

Q11.1日を通して、本講座の科目構成や日程（事前課題提出や時間帯）はいかがでしたか？



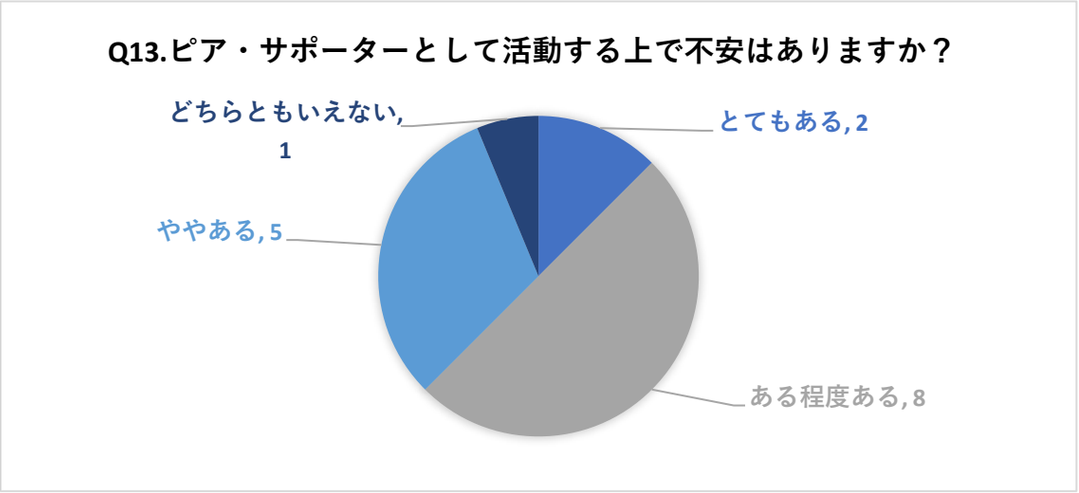
	理由
3	講座を知ったのが１ヵ月前だったので、YouTubeをみてレポートを書くのが大変でした。
5	介護しているので、土曜日で早く自宅に戻れると感じた。
7	事前学習で時短になった。
9	カリキュラムがコンパクトで参加しやすい
11	実戦形式のロールプレイがよかった
12	長い時間でしたが、身になるような知識を得ることができて良かったです。
13	事前課題で学ぶことで理解が深まった
14	動画はとても分かりやすかったです
15	ちょっと大変でしたが、１日でまとめてくれて良かった
16	内容の詰めすぎかな～？

Q12.1日を通して、ピア・サポート活動について理解できましたか？



	理由
5	とても人に向きあう言葉選びができた。
11	１日でも早くサポートできるようになりたいと思いました
12	いろんな人達の話を傾聴するだけでなく、一緒に考える事や自分の事を大切にしていく事も必要だと感じた。
13	実際に活動している方の話も聞くことができて良かった
14	すべてではないが、ある程度理解できたと思うが、継続的なフォローアップが必要だと感じた

Q13.ピア・サポーターとして活動する上で不安はありますか？



理由

3	いろいろな状況の方が相談に来ると思うので対応できるか不安です。
4	体験を語るには、気持ちの整理、準備が大切なので、自身の気持ちの整理を行うことが求められる
5	やはり言葉選びと声かけの仕方、緊張など
6	自身の経験・知識・対応力不足を感じる
8	サポーターとしてうまく言葉で伝える事ができるのか？感情的にならないでお話を聞く事ができるのか？が不安です。
9	現時点では経験が無い為
10	ピアサポーターとしてやっていけるのか不安です
11	知らないがんの話が来たらどうしようと不安になります
12	相手が望む回答ができるのか。共感や寄り添うことができるのか不安です
13	ロールプレイのパートで、難しさを痛感した
14	現時点では、不安しかないですが、少しずつ経験をつんでいきたいです
15	経験を積んでいきたい

Q14.ピア・サポーターとして活動する上で、どのようなフォロー体制があると安心ですか？

1	今後の活動のやり方をもう少し詳しく聞きたいのと、ピアサポーターとして、どういう情報を取りにいけばいいのかなど、新しい情報の共有などもほしいなと思いました。
5	ロールプレイをケース事くりかえし行う日程があればいいなと思う。
7	グループでの活動。医療関係者のフォローアップ
9	ピアサポーターの活動見学
10	ベテランの方と一緒にサポートできたら安心です
11	いつでもサポーター同士のフォローがとれると安心
12	特になし
13	経験者の方々や医療関係者との連携体制
14	定期的にフォローアップセミナーをしていただきたい。新しい情報も得たいと思います
15	経験者と一緒にやりたい

Q15.本講座へのご意見、ご感想をお書きください

1	たくさん学ぶことがあり、知らないこと、知っておいた方がいいことなど、今後サポートする上で自分が今ピアサポーターとしてやっておいた方がいいことがわかりました。すごくいい体験でした。
2	医師や講師の方が、お優しく、非常にわかりやすい授業でした。仲間であるということに気づきよかったです。弱い人の立場になり、社会へ貢献したい。
3	午後ロールプレイがあって、眠くならなくてよかったです。急性骨髄性白血病が１日で悪化することを知り、とても勉強になりました。
4	地域統括相談支援センターの役割について、認識することができたこと、沖縄県のがん対策事業が進んでいることは新発見でした。
5	とても皆さん協力的で良かった。休憩もこまかくあって良かった。会場準備、手のあいた方？の協力もしてよかったのでは？
6	座学とグループワークのバランスが良く、実践形式のロールプレイングもあり、とても内容の濃い講座でした。講師の先生方のお話もとても良かったです！
7	県の委託事業で、講座が受けられるのはありがたいです。今後も予算が付いて事業が続いてほしいです。
12	ピア・サポーターとして、不安が多くありますが、長い時間で学んだ事は活かせるよう心がけていきたいです。
13	とても貴重な学びの時間、同じ経験者との出会いの場、ありがとうございました
14	とても有意義でした
15	ロールプレイが難しかったけど、実践できてよかったです

令和8年度　沖縄県委託事業

あなたのがん体験を活かしませんか？

がんを経験したあなた・ご家族のあなただからこそ

がん患者やその家族に寄り添うことができます

がんピア・サポーターとは

がん患者さんやそのご家族・ご遺族の方の不安や心配ごとなどを仲間（ピア）として同じ立場で聴いたり、自身の体験をお話したりするがん経験者やそのご家族・ご遺族のことです。

令和8年度 がん ピア・サポーター

養成講座

受講無料

2026. 6.27 土

9:00-17:00
（8:30受付）

琉 球 大 学 病 院　7 階 会 議 室

〒901-2725　沖縄県宜野湾市字喜友名1076番地

受講対象

下記の1ー5の全てに該当する方



1.がん患者さんおよびそのご家族、ご遺族

2.現在、病状が安定している方

3.事前学習プログラム（講義動画）を視聴できる方

4.講義ならびにロールプレイ（面談技法）に参加できる方

5.受講後は治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターのがんピア・サポーターとして登録し活動できる方

＊基本的に上記の1ー5の全てに該当する方を対象としておりますが、状況によっては受講対象とさせていただきます
お気軽にご相談ください

申込方法

①左記のQRコードからお申込み

②電子メール・電話・FAXからお申込み

申込締切　2026.6.5 金

＊離島から受講される方は旅費の助成があります

沖縄本島内の移動は交通費等の助成はありません

詳細は事務局までお問い合わせください

●発熱（37.5℃以上）の症状のある方、風邪症状のある方はご遠慮ください。
●当日は、マスク着用でのご参加をお願いします。1日通しての研修会となるため、弁当持参をおすすめします。

［お問合せ］琉球大学病院　がんセンター内　沖縄県地域統括相談支援センター　担当：伊波
TEL：(098)894-1506（直通）　FAX：(098)894-1519　MAIL：info@gansoudan-okinawa.jp

令和8年度 がん ピア・サポーター養成講座

2026.6.27（土）開催

講師紹介

●齋藤　円先生

市立ひらかた病院　精神科　主任部長

●野田　真由美さん

NPO法人　支えあう会「α」　理事長

8：30開場/9：00開始/17：00終了　場所：琉球大学病院　7階　会議室

事前学習（動画視聴）

養成講座に先立って、基礎知識の習得のために、以下の6項目については動画視聴をお願いしています。

1．ピアサポートとは
2．ピアサポーターの役割と活動指針
3．相手を大切にすること、自分を大切にすること
4．より良いコミュニケーションのために
5．がん診断の基礎知識と情報提供の注意点
6．行政や医療機関が支援できること

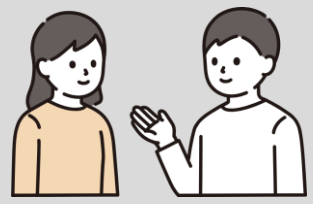


＊動画の視聴や課題提出方法等については、お申し込み後にメールにてご案内します。

プログラム

8:30	受付
9:00	開会のあいさつ・オリエンテーション
9:20	ピアサポートについて　講義1　齋藤　円先生
9:50	事前学習の復習　講義2　野田　真由美さん
10:30	バウンダリーについて　講義3　齋藤　円先生
11:10	自分の体験を語る　ワークショップ1　野田　真由美さん　齋藤　円先生
12:10	お昼休憩
13:00	ロールプレイオリエンテーション　野田　真由美さん
13:20	ロールプレイ1　ワークショップ2
14:00	ロールプレイ2　ワークショップ3
14:40	ロールプレイ3　ワークショップ4
15:30	全体振り返り
16:05	がん対策について　講義4　がんセンター長　増田　昌人
16:15	沖縄県のピアサポート事業について　講義5　当センター　相談員
16:30	質疑応答・修了式
17:00	閉会





＊受講後に修了書をお渡しいたしますが、資格として認定されるものではありませんので、ご了承ください。

［場所］

琉球大学病院 7階会議室
〒901-2725
沖縄県宜野湾市字喜友名1076番地

［お問合せ］

沖縄県地域統括相談支援センター　担当：伊波
琉球大学病院　がんセンター内
TEL：(098) 894-1506（直通）
MAIL：info@gansoudan-okinawa.jp

週刊レキオ
琉球新報の副読紙
2026
5.28
No.2140
LEQUIO

■2026年度 がんピア・サポーター養成講座　6月27日(土)9：00～17：00　琉球大学病院 7階会議室　無料　要予約　内容：がんピア・サポーターとは、がん患者やその家族・遺族の不安や心配ごとなどを仲間(ピア)として同じ立場で聴き、体験を話したりするがん経験者やその家族・遺族のこと。講義やロールプレイを通じて、がんピアサポーターの養成を行う。詳細はHP、または問い合わせ　対象：現在病状が安定しているがん患者やその家族・遺族　098-894-1506〔県地域統括相談支援センター〕

◆がんピア・サポーター養成講座　6月27日9～17時。琉球大学病院7階会議室。病状が安定しているがん患者や家族・遺族対象。申し込みは6月5日まで。受講無料。TEL(894)1506 県地域統括相談支援センター

◆がんピア・サポーター養成講座　6月27日9～17時。琉球大学病院7階。病状が安定しているがん患者やその家族、遺族対象。要申し込み。受講無料。TEL(894)1506　県地域統括相談支援センター

がん相談業務
（院内におけるピア・サポート）

相談記録シート集計報告

実施期間：令和8年7月1日～令和8年9月30日

沖縄県地域統括相談支援センター

がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

■ 調査対象期間　　令和8年7月1日～令和8年9月30日

■ 調査件数　　28件

相談月	件　数
7月	7
8月	9
9月	12
合　計	28

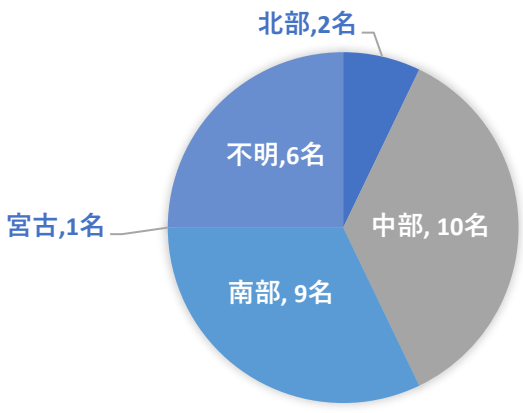
相談時間



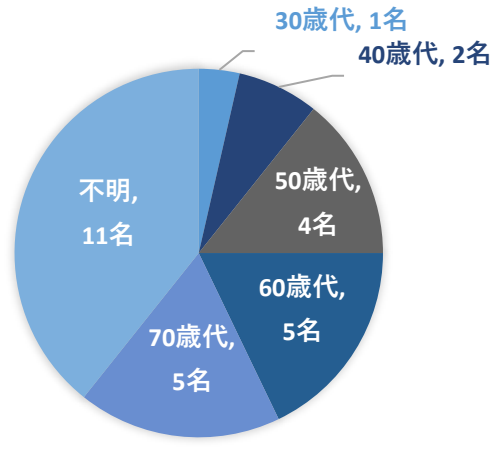
相談形式



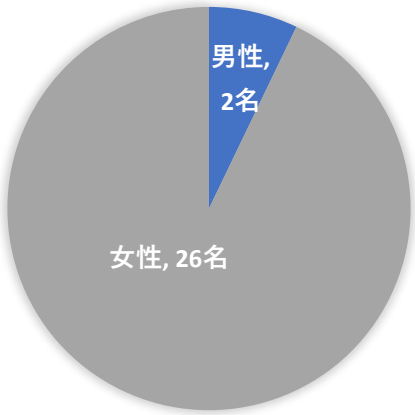
相談者の移住エリア



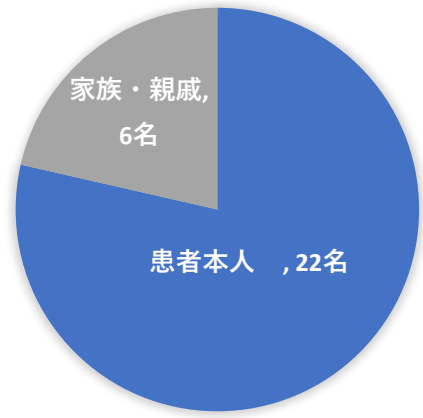
相談者年代



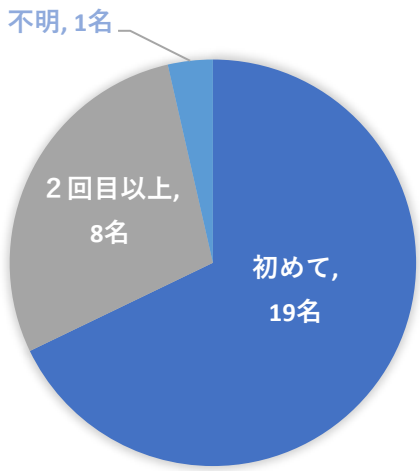
相談者の性別



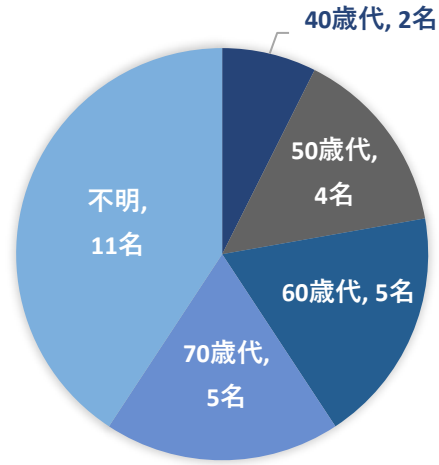
相談者のカテゴリー



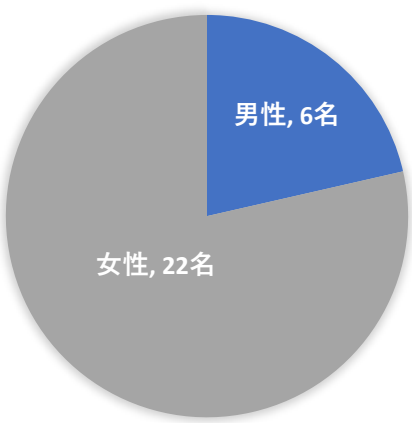
相談者の利用回数



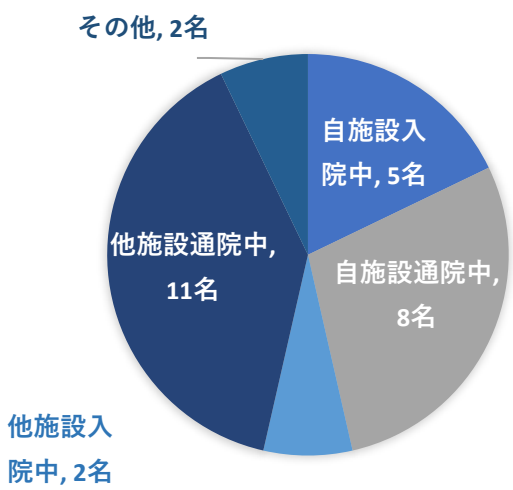
患者本人の年代

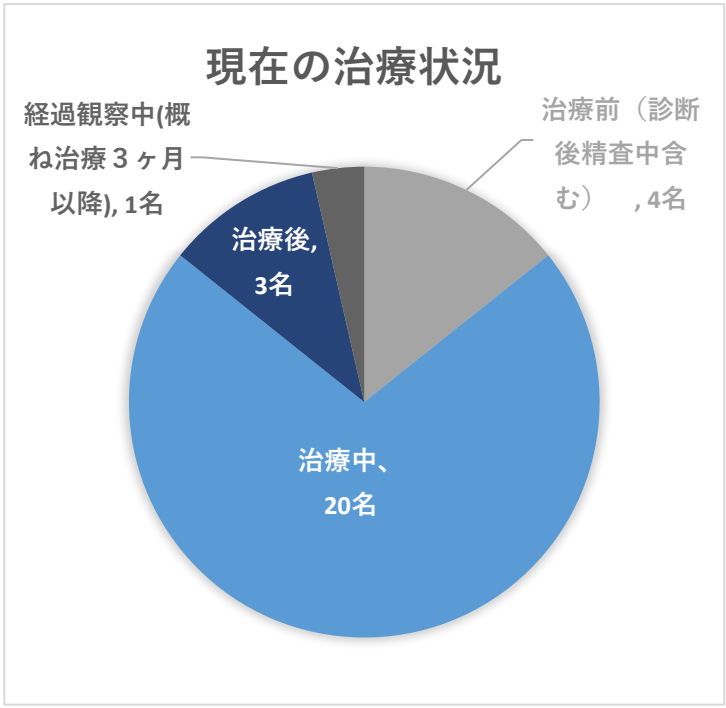


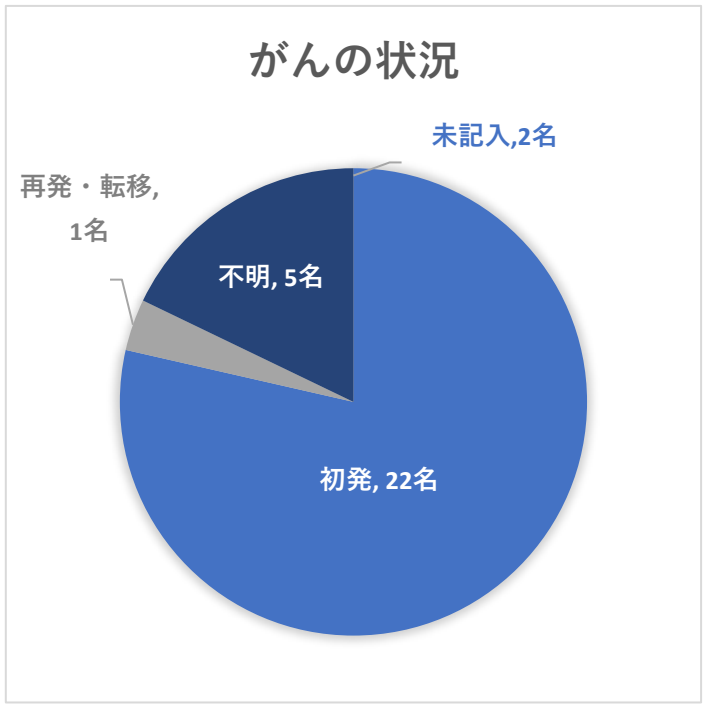
患者本人の性別

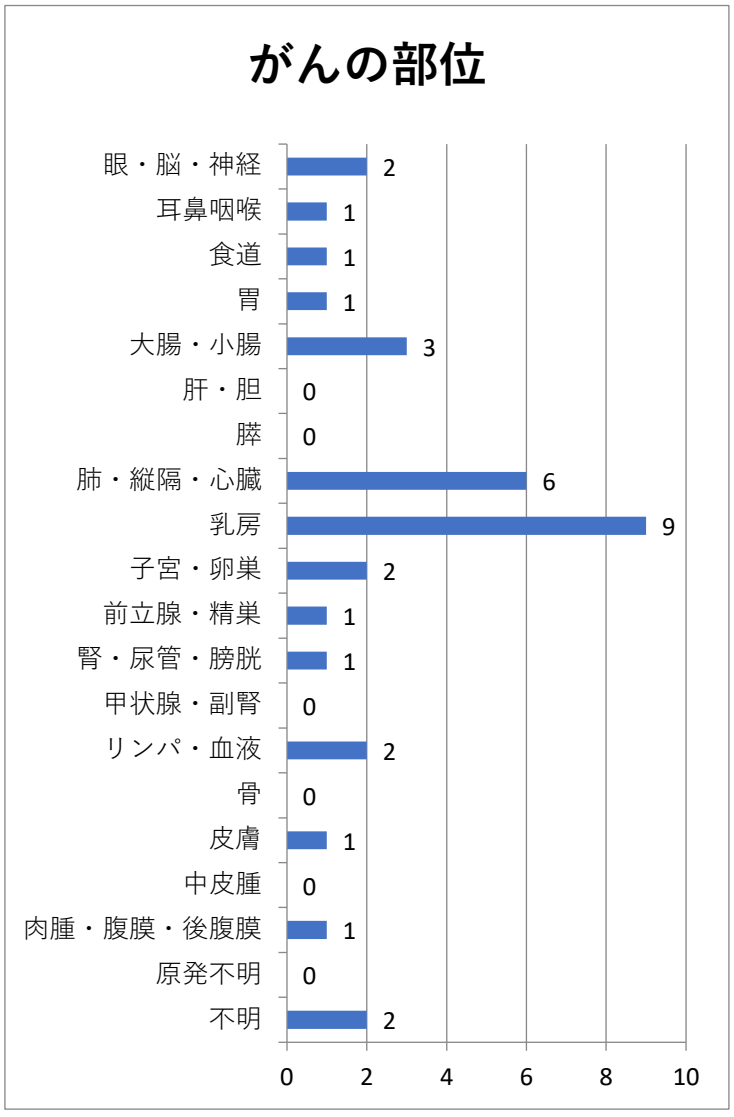


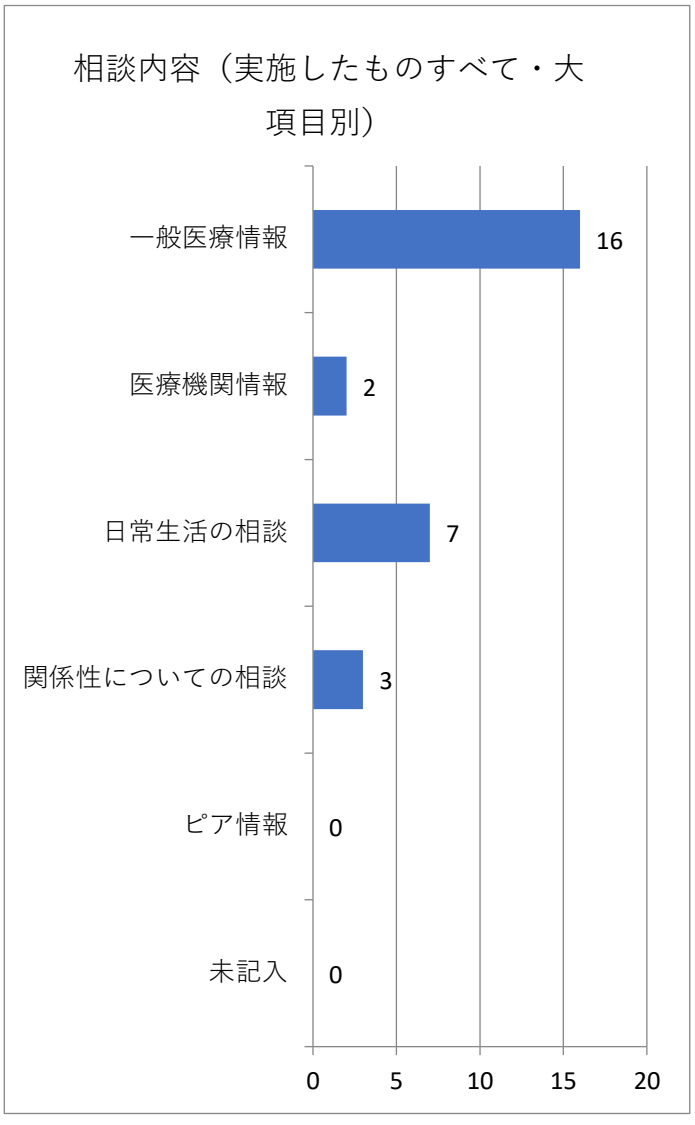
受診状況



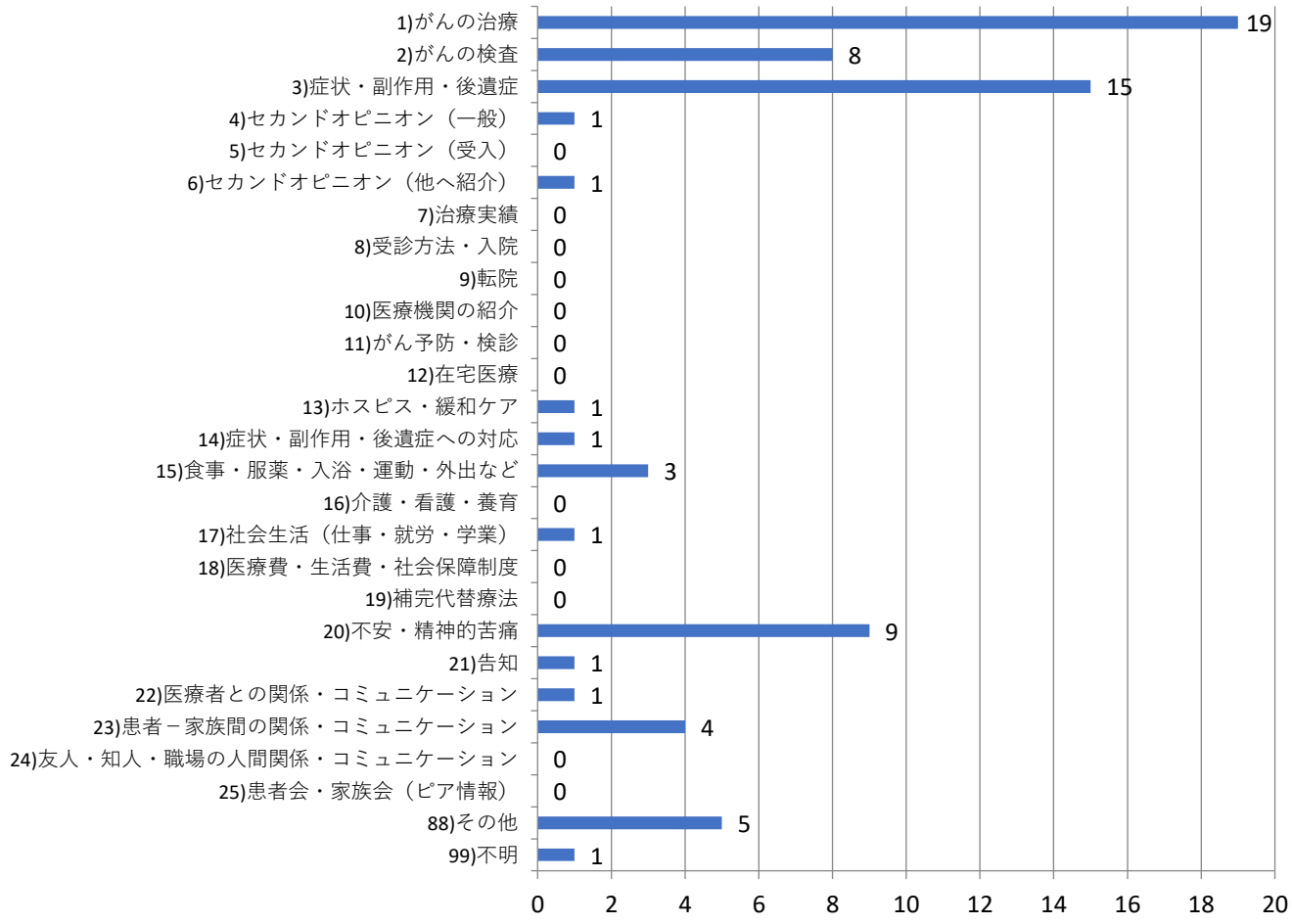

現在の治療状況
経過観察中(概ね治療３ヶ月以降), 1名
治療前（診断後精査中含む）　, 4名
治療後, 3名
治療中、20名


がんの状況
未記入,2名
再発・転移, 1名
不明, 5名
初発, 22名

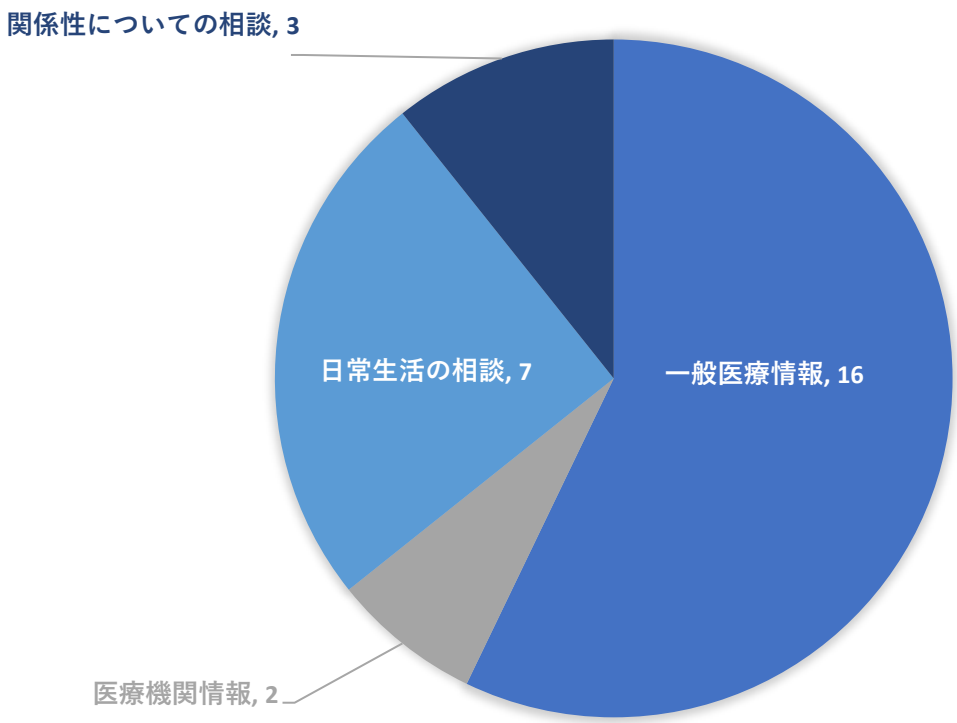

がんの部位
眼・脳・神経 2
耳鼻咽喉 1
食道 1
胃 1
大腸・小腸 3
肝・胆 0
膵 0
肺・縦隔・心臓 6
乳房 9
子宮・卵巣 2
前立腺・精巣 1
腎・尿管・膀胱 1
甲状腺・副腎 0
リンパ・血液 2
骨 0
皮膚 1
中皮腫 0
肉腫・腹膜・後腹膜 1
原発不明 0
不明 2
0 2 4 6 8 10


相談内容（実施したものすべて・大項目別）
一般医療情報 16
医療機関情報 2
日常生活の相談 7
関係性についての相談 3
ピア情報 0
未記入 0
0 5 10 15 20

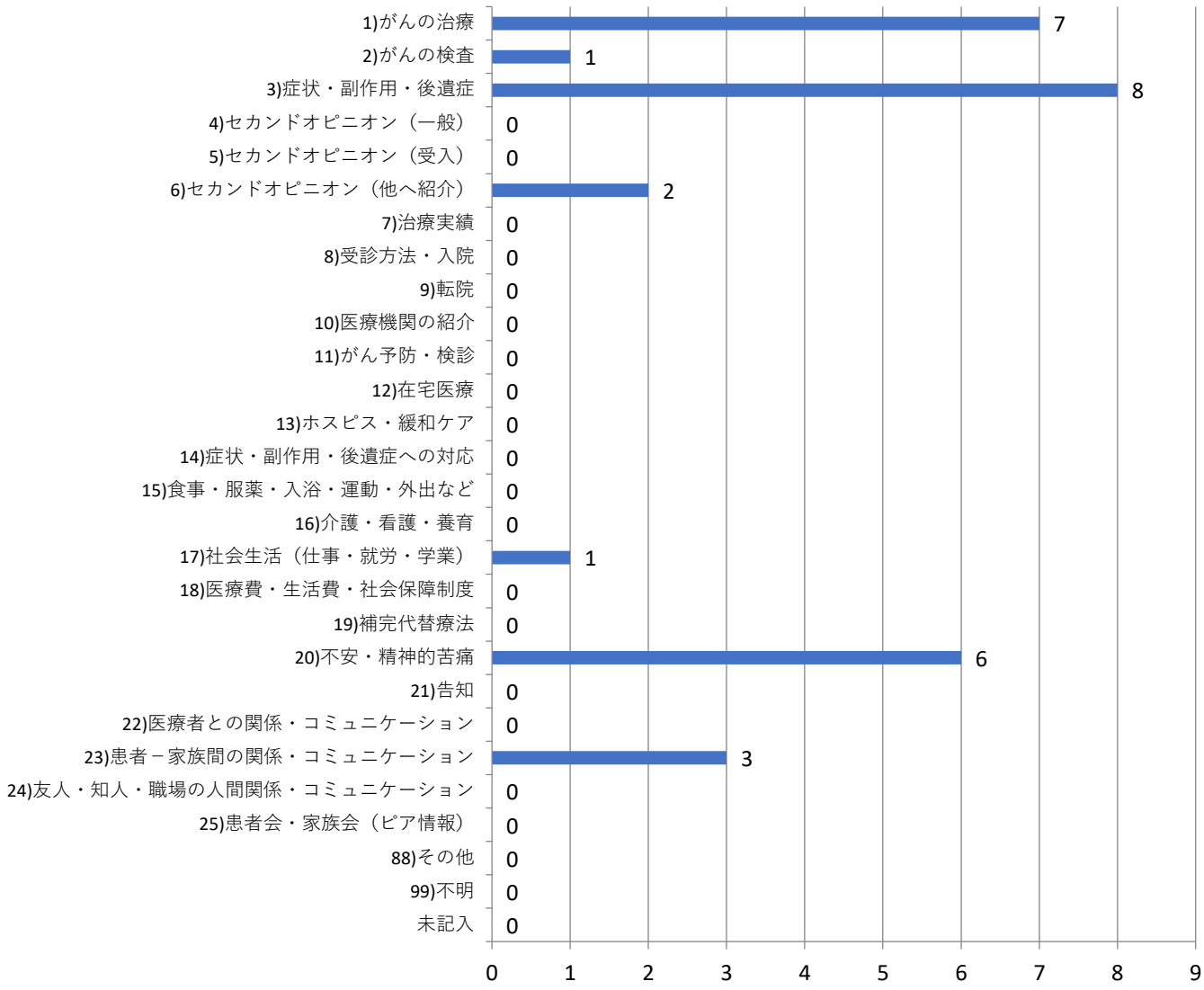
相談内容（実施したものすべて）



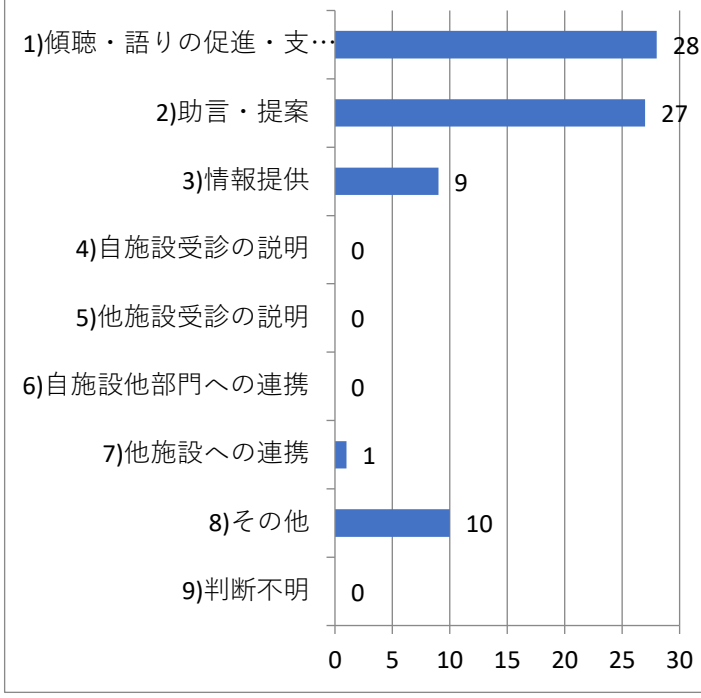
相談内容（最も比重の高いもの・大項目別）



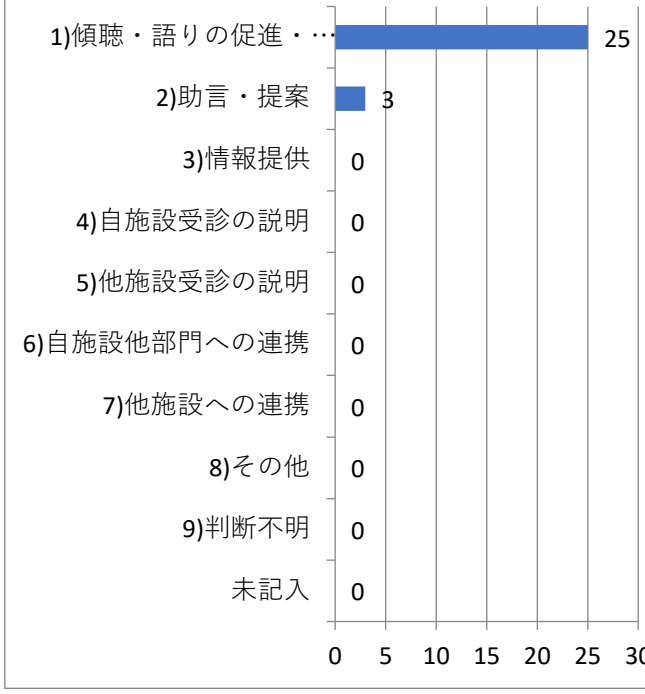
相談内容（最も比重の高いもの）

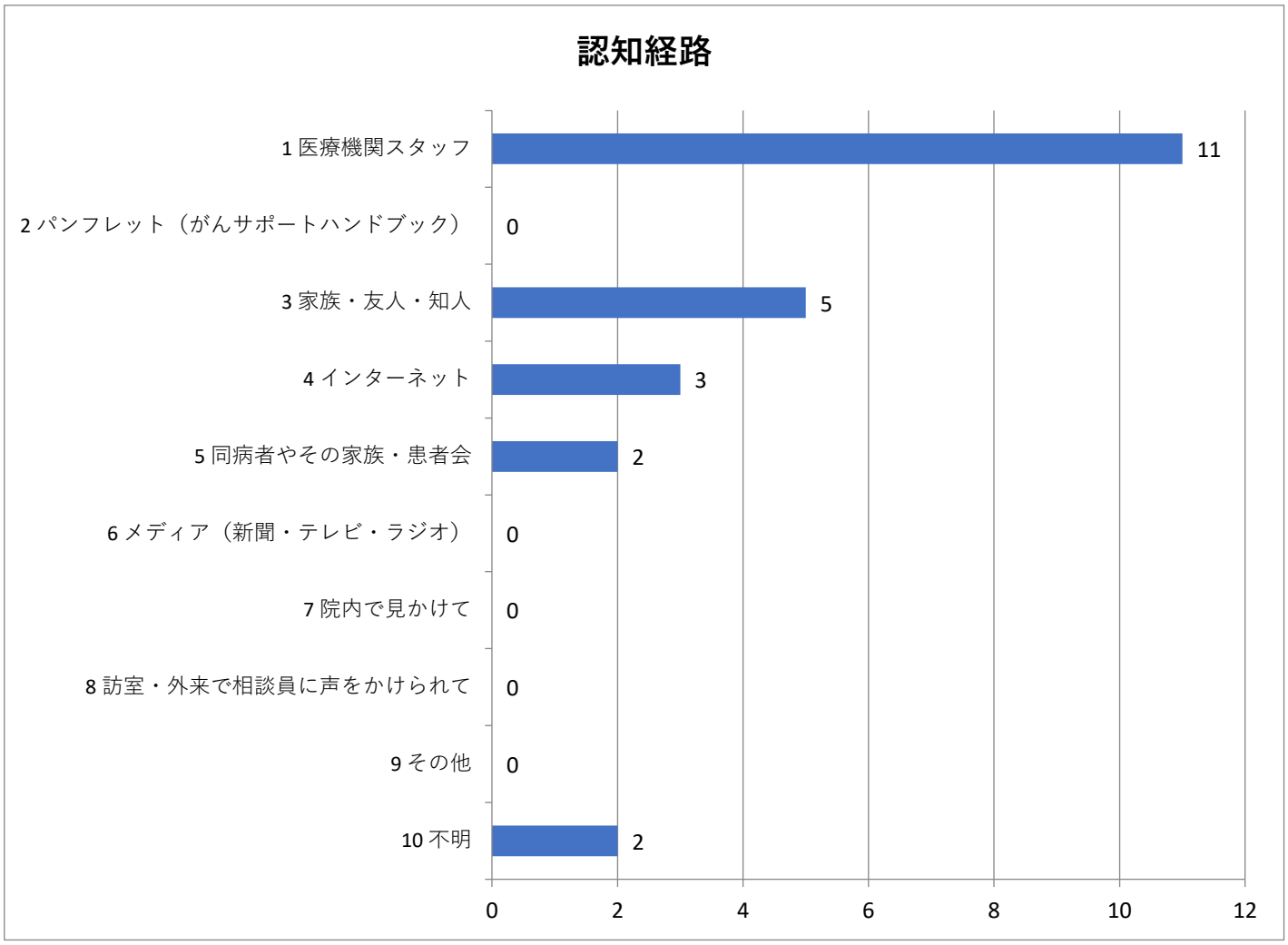


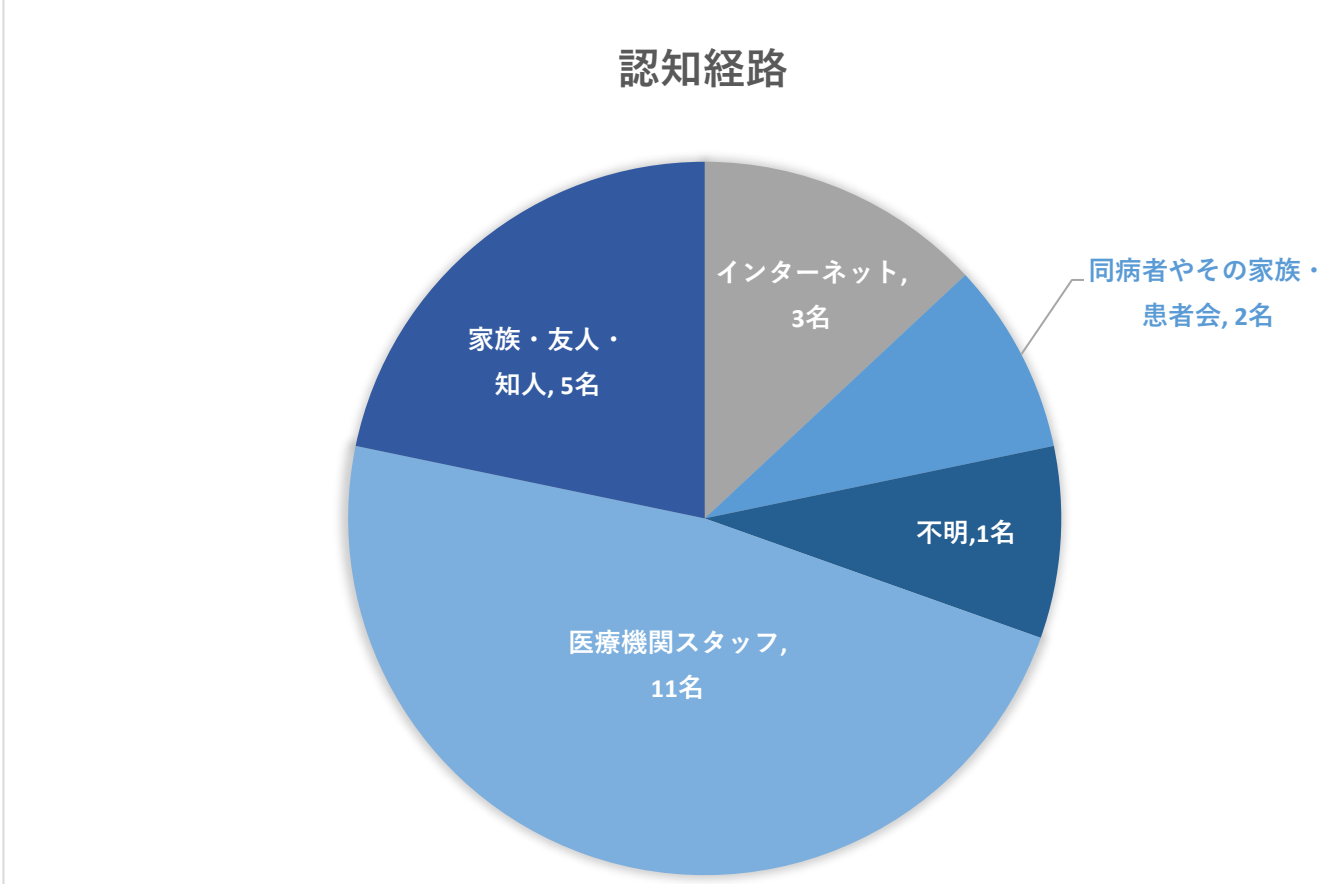
対応内容（実施したものすべて）



対応内容（最も比重の高いもの）




認知経路
1 医療機関スタッフ
2 パンフレット（がんサポートハンドブック）
3 家族・友人・知人
4 インターネット
5 同病者やその家族・患者会
6 メディア（新聞・テレビ・ラジオ）
7 院内で見かけて
8 訪室・外来で相談員に声をかけられて
9 その他
10 不明
11
0
5
3
2
0
0
0
0
2
0
2
4
6
8
10
12


認知経路
インターネット, 3名
同病者やその家族・患者会, 2名
不明,1名
医療機関スタッフ, 11名
家族・友人・知人, 5名

令和８年度　沖縄県委託事業

沖縄県内各拠点病院 院内患者サロン
報告

実施日：令和８年７月～令和８年９月

沖縄県内各拠点病院　院内患者サロン　出張報告

名称　令和８年度　第４回　琉大ゆんたく会

場所　琉球大学病院　２階　多目的室

日時　令和８年　７月　７日（火）　14：00　～　16：00

派遣者　がんピア・サポーター（がん経験者）　２名

内容　「治療しているのに運動なんてしていいの」(名嘉太郎先生　リハビリテーション部)

・筋トレを行ってもいいが、機能を改善するための訓練、できない場合、痛みがある人は、痛みが出ないように考え、色々な方向でリハビリを行う。

・普段から動かないと関節も固くなり、消化機能も低下し、めまいなどが現れる。

・運動はうつ病の予防にもつながる。疲れない程度で行う。

・運動は筋肉痛する程度ならよい。

・水中ウォーキングは負担がかかるので、疲れない程度ならよい。

・歩く際はなるべく平坦な場所を歩く。

・参加者からの質問が多く、有意義なゆんたく会となった。

沖縄県内各拠点病院　院内患者サロン　出張報告

名称　令和８年度　第５回　琉大ゆんたく会

場所　琉球大学病院　２階　多目的室

日時　令和８年　８月　４日（火）　14：00　～　16：00

派遣者　がんピア・サポーター（がん経験者）　３名

内容　体験談（仲田ひろこ　がんピア・サポーター）

・ホルモン療法は、男女関係なく似たような経過をたどるのか？

・こむら返りがひどくて、朝起きるときつらい

・両親へがんになったことを伝えるべきか

・「健康的な食事をしていなかったのでは」「〇〇してたんじゃない」など、辛い時にこういうことを言われた時の対応はどうしたらいい？

・治療方法はどんどん変わってきている。

さまざまな質問があり、とても活発なゆんたく会となった。

沖縄県内各拠点病院　院内患者サロン　出張報告

名称　令和８年度　第 173 回　中部地区ゆんたく会

場所　中部病院

日時　令和８年　７月　23 日（木）　15：00　～　16：30

派遣者　がんピア・サポーター（がん経験者）　１名

参加者　６人

内容　作業療法士を交えての「ゆんたく会」

みなさん、普段の生活での体の動きの不安を積極的に質問していた。

作業療法士さんがリハビリを教えるというよりも、一緒に楽しくゆんたくして不安を共有しましょうという雰囲気だった。

「がんリハビリ」や、「リンパ浮腫外来」などについての質問があり、「がんリハビリ」は初めて聞いたが、入院中にしかないということだった。患者さんとしては、退院後も不安が続くのでそれに対応する仕組みがあればいいなと感じた。

沖縄県内各拠点病院　院内患者サロン　出張報告

名称　令和８年度　第 154 回　那覇がん患者ゆんたく会

場所　那覇市立病院

日時　令和８年　７月　16 日（木）　14：00　～　15：30

派遣者　がんピア・サポーター（がん経験者）　２名

参加者　５人

内容　理学療法士と作業療法士による「自宅でできるリハビリ」がテーマ

・立ってやるもの、座ってやるものなど、療養中でも安心してできるリハビリを教えていただき、かなり充実した内容であった。

・お薬でのつらい副作用がある方への対応も、参加者に寄り添ったお話をしていた。

・傾聴しながらも、積極的にお話をされない方への声掛けをして、理学療法士さんからのアドバイスにつながり安心したと相談員の方からお聞きしました。

会は予定通りに終了。

オンラインゆんたく会　報告

名称　令和８年度　第４回　オンラインゆんたく会

場所　オンライン（Zoom）

日時　令和８年　７月　21 日（火）　14：30　～　15：30

派遣者　がんピアサポーター（上地　久美子、与儀　淑恵、掛谷　由美子）　３名

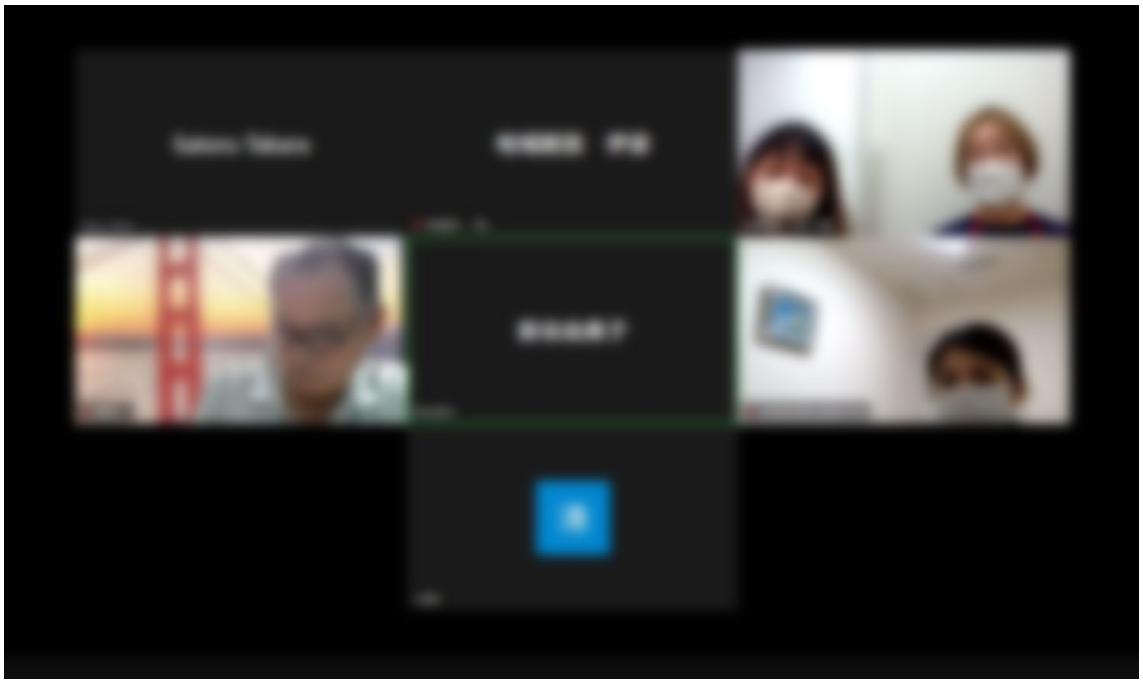
参加者　一般参加者　３名

北部地区医師会病院　看護師　１名

通常通りオンラインゆんたく会の約束ごとを読み上げ共通認識を図る。

自己紹介をし、皆さんの近況報告。

抗がん剤の副作用への向き合い方について、皆さんで話し合った。



オンラインゆんたく会　報告

名称　令和８年度　第５回　オンラインゆんたく会

場所　オンライン（Zoom）

日時　令和８年　８月　18 日（火）　14：30　～　15：30

派遣者　がんピアサポーター（上地　久美子、与儀　淑恵）　２名

参加者　一般参加者　１名

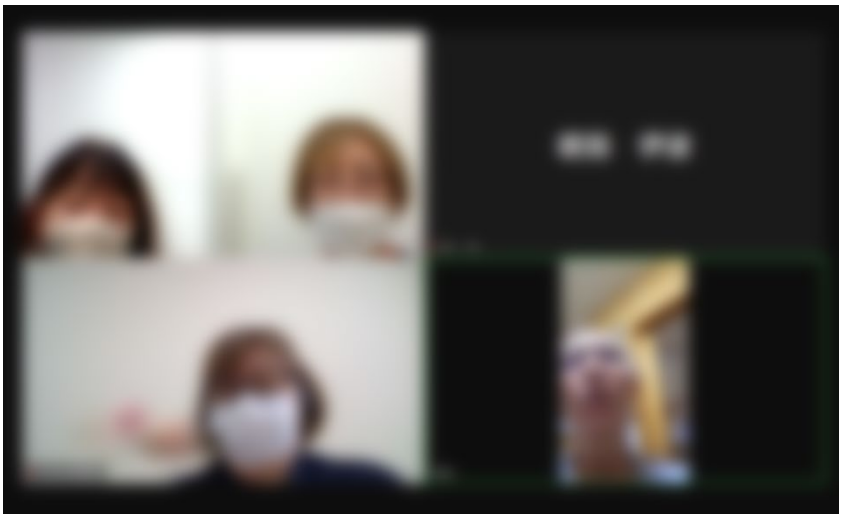
宮古病院　看護師　１名

通常通りオンラインゆんたく会の約束ごとを読み上げ共通認識を図る。

自己紹介をし、皆さんの近況報告。

抗がん剤治療中で疲れやすく、指先や口角、鼻血などの副作用があると参加者からの悩みがあり、ピア・サポーターのお２人が体験をお話しした。

また、がん患者は筋肉を着けなければいけないという本を読み実践しているが、かなり疲れてしまうとのこと。宮古病院の横田さんより、動かなくなってしまうことが良くないので、散歩から始めても良いと思う、というアドバイスがあった。



オンラインゆんたく会　報告

名称　令和８年度　第６回　オンラインゆんたく会

場所　オンライン（Zoom）

日時　令和８年　９月　15 日（火）　14：30　～　15：30

派遣者　がんピアサポーター（上地　久美子、与儀　淑恵）　２名

参加者　一般参加者　３名

八重山病院　看護師　２名

通常通りオンラインゆんたく会の約束ごとを読み上げ共通認識を図る。

自己紹介をし、皆さんの近況報告。

心のメンタルのことを話し合う。現実逃避などしてあまり考えすぎないようにする。楽しいことを考えるなどのご意見があり。

八重山病院の看護師さんは、患者さんよりご家族の方がメンタルに来ている場合があるため、ご家族のサポートのために「おきなわがんサポートハンドブック」の情報を伝え、読んでもらっているとのこと。

お一人、話しだけ聞くと参加された方もいらっしゃったが、お話に入っていただくことも多く、皆さん全員がお話しすることが出来た。

定期健診のお話や趣味のお花の話など、いろいろなお話をし、有意義な時間となった。

令和８年度　沖縄県委託事業

出張ピア・サポート

開催報告

実施日：令和８年９月９日（水）14：00～16：00

【名　称】

出張ピア・サポート

沖縄県内のがん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院に出向き、がん患者支援を行うものである。主たる内容はがん ピア・サポーター（がん経験者）によるがん個別相談とする。

【目　的】

1. がん患者や家族の不安軽減
   当事者同士ががんに対する不安や悩み・気持ちを分かち合い、必要とする情報を交換し合うことで病気に対する不安軽減につなげる。

2. がん ピア・サポートの周知
   当センターの普及活動とし、がん　ピア・サポート相談室の利用へつなげる。

3. がん　ピア・サポーターの活用
   当センター主催のがん ピア・サポーター養成講座修了生である登録ピア・サポーターの活動の場所として提供する。

【概　要】

1. 日　時　　令和 8 年 9 月 9 日（水）14：00～16：00
   開始時間 14：00、14：30、15：00、15：30
   全 4 回（各 30 分）
   がん相談（当センター相談員または登録サポーターにて対応）
   スタッフ（事務員 1 名）

2. 場　所　　北部地区医師会病院

3. 対　象　　がん患者、そのご家族、ご遺族など

4. 主　催　　沖縄県地域統括相談支援センター（令和 8 年度　沖縄県委託事業）

5. 共　催　　琉球大学病院がんセンター

6. 参加費　　参加・相談無料

7. 予　約　　予約優先・当日受付

【イベント当日の流れ】

13:00～13:45　会場設営
13:45～14:00　打ち合わせ
14:00～16:00　受付・相談会（各 30 分ずつ×4 回）
16:00～16:15　振り返り
16:15～17:00　片付け・退館

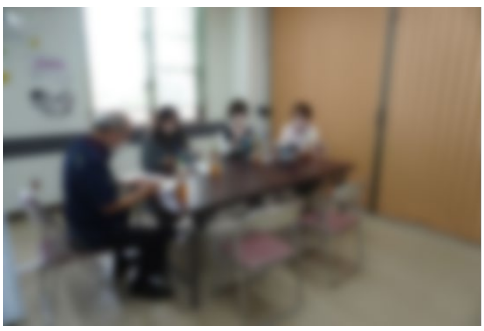
＊がん相談会の当日受付から運営まで当センター関係者にて行った。

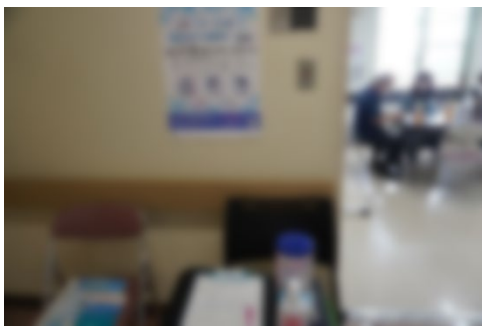
【北部地区医師会病院】
参加人数：2 組
統括相談員　3 名／事務員　1 名
【振り返り】
・今回の相談会については、院内での広報活動および院内での声掛けを実施した結果、2 組の参加につながった。県内のがん診療を行っている医療施設や患者会、自治体等への広報も行ったが、実際の相談につながったのは院内での直接的な声掛けであり、院内周知の重要性を改めて感じた。
・会場は前回同様、本館のシミュレーション室を使用した。病棟から参加する患者さんの移動もスムーズであり、開催場所が分かりやすく、参加しやすい環境であったと考えられる。
・相談対応は 1 組あたり 30 分で実施した。予約枠に空きがある状況であったため、場合によっては相談時間を柔軟に延長するなど、状況に応じた対応も必要であったと感じた。一方で、30 分という限られた時間の中でも、治療に関する相談から日常的な話題まで幅広い内容について話すことができ、有意義な時間となった。
・予約者のいない時間帯には、北部地区医師会病院の担当者と情報交換を行った。同院の患者サロンでは参加者が集まりにくい状況が続いていたものの、今年度第 1 回の患者サロンでは 4 名が参加し、予定時間を 30 分延長するほどフリートークが盛り上がったとのことであった。
また、統括相談員の派遣についても話題となったが、オンラインゆんたく会と開催日が重なっているため、今後調整や検討が必要であると感じた。
・北部地域では病気のことを周囲に知られないように通院している方も多いとの話があり、今後は地域特性を踏まえた周知・広報の方法について検討していく必要がある。

今後の課題

- 院内での声掛けを中心とした効果的な広報活動の継続
- 予約状況に応じた相談時間の柔軟な運用
- 患者サロン等への統括相談員派遣体制の検討
- 北部地域の実情を踏まえた周知・広報方法の見直しと強化
- 地域住民が参加しやすい相談・交流の場づくりの推進

▼北部地区医師会病院





令和８年度　沖縄県委託事業

相談員ミーティング
開催報告

実施日：第１回　令和８年９月 24 日（木）

令和８年度　第１回　沖縄県地域統括相談支援センター　相談員ミーティング

日 時　　令和８年９月24日（木）　15：00～16：00
場 所　　WEB（琉球大学病院　がんセンター）
出席者　　増田　昌人　（琉球大学病院　がんセンター長）
　　仲田　ひろ子（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　西村　克敏　（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　上地　久美子（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　与儀　淑恵　（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　掛谷　由美子（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　宮里　光彦　（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　伊波　亜利沙（沖縄県地域統括相談支援センター　事務補佐員）

【報告】
1. 令和７年度　がん　ピア・サポーターフォローアップ研修会報告（資料１）
2. 令和７年度　リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ2025（資料２）
3. その他

【議 題】
1. 令和８年度　フォローアップ研修会　プログラム　（資料1-1）
2. 令和８年度　リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ2026（資料2-2）
3. その他

当日記録
【報告】
1.令和７年度　がん　ピア・サポーターフォローアップ研修会報告
　前年度に実施したフォローアップ研修会について、紙面にて報告を行った。
令和７年度　リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ2025
　前年度に開催されたリレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ2025について、紙面にて報告を行った。

【議 題】

1. 令和 8 年度　フォローアップ研修会　プログラム

事前打ち合わせにて決定した事項について、相談員へ報告を行った。

・コミュニケーションスキルに関する内容を、ロールプレイの合間に組み込むこと

・前半と後半のロールプレイで参加メンバーを変更すること

また、新たに参加する相談員については、オブザーバーまたは受講生として参加していただくこととなった。

2. 令和 8 年度　リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ 2026（資料 2-2）

リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ 2026 の催し物について意見交換を行った。アピアランスケアやタオル帽子作成などの案について、それぞれのメリット・デメリットを踏まえて意見を出し合い、参加者の考えを共有することができた。

検討の結果、当日は以下の体験ブースを実施する予定となった。

・抗がん剤治療等による爪の変色をカバーするためのネイル体験

・リラックス効果が期待できるアロマ体験

3. その他

（1）緩和ケア週間イベントについて

<中部病院>で開催される緩和ケア週間イベントのミニ講話の講師依頼について協議した。その結果、後日＜西村さん＞に講師を依頼することとなった。

（2）相談員のスケジュール共有について

相談員の増加に伴い、各相談員の相談室勤務日をタイムリーに把握できるツールの導入について意見があった。今後、情報共有方法について検討していくこととなり、後日候補として以下のツールが挙げられた。

・LINE　・Google カレンダー　・TimeTree

4. まとめ

・フォローアップ研修会のプログラム内容を共有した。

・リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ 2026 では、ネイル体験とアロマ体験を実施予定とした。

・緩和ケア週間イベントのミニ講話は西村さんに依頼することとなった。

・相談員の勤務日共有のためのツール導入を検討していくこととなった。